

博士論文（要約）

論文題目 フナイン・ブン・イスハーグ『医学問答  
集』研究

氏名 矢口直英

# 目次

凡例.....	vii
序文.....	1
1. 医学の問答集.....	1
2. 『医学問答集』の先行研究.....	5
2.i アラビア語版.....	5
2.ii ラテン語版.....	7
3. イスラーム以前の医学教育.....	9
4. 本論文の構成.....	14
I. フナインとその一派.....	17
1. フナイン.....	17
1.i 著作.....	23
2. フナイン一派.....	26
2.i フバイシュ.....	26
2.ii イスハーク.....	28
2.iii その他の弟子 .....	29
3. フナイン一派による翻訳.....	31
3.i ガレノスの著作.....	31
3.ii ガレノス以外の著者.....	51
II. 『医学問答集』について .....	59
1. 『医学問答集』 .....	59
1.i 構成.....	61
2. 翻訳.....	68
2.i ラテン語版.....	68

## 目次

2.ii シリア語版.....	70
2.iii その他 .....	70
3. 『医学問答集』の注釈および要約 .....	70
3.i 注釈.....	70
3.ii 要約.....	72
3.iii 批判 .....	73
4. アレクサンドリア集成.....	74
4.i 収録タイトル .....	74
4.ii アレクサンドリア集成の成立.....	77
4.iii 文体と構造 .....	79
III. 『医学問答集』の構造と出典.....	85
1. 第1章から第4章.....	85
1.i 第1章.....	85
1.ii 第2章.....	89
1.iii 第3章 .....	92
1.iv 第4章.....	97
1.v 第1章から第4章についての結論.....	101
2. 第5章 .....	103
2.i 第5章問い合わせ 1–38.....	103
2.ii 第5章問い合わせ 39–56.....	107
2.iii 第5章問い合わせ 57–83.....	108
2.iv 第5章についての結論.....	114
3. 第6章.....	116
3.i 第6章問い合わせ 1–12.....	117
3.ii 第6章問い合わせ 13–18.....	121

3.iii 第 6 章問い合わせ 19–38.....	133
3.iv 第 6 章問い合わせ 39–58.....	157
3.v 第 6 章問い合わせ 48–58.....	158
3.vi 第 6 章問い合わせ 59–61.....	170
3.vii 第 6 章問い合わせ 62–78.....	172
3.viii 第 6 章問い合わせ 79 .....	188
3.ix 第 6 章についての結論.....	189
4. 第 7 章・第 8 章.....	191
4.i 第 7 章問い合わせ 1–2.....	192
4.ii 第 7 章問い合わせ 3–15.....	194
4.iii 第 8 章問い合わせ 1–5 .....	198
4.iv 第 8 章問い合わせ 6–49 「自然要素（追加分）」 .....	201
4.v 第 8 章問い合わせ 50–95 「自然でない要素」 .....	207
4.vi 第 8 章問い合わせ 96–115.....	212
4.vii 第 8 章についての結論.....	215
5. 第 9 章.....	216
5.i 第 9 章問い合わせ 1–14.....	219
5.ii 第 9 章問い合わせ 15–57.....	221
5.iii 第 9 章問い合わせ 58–67.....	227
5.iv 第 9 章についての結論.....	228
6. 第 10 章.....	229
6.i 第 10 章問い合わせ 1.....	229
6.ii 第 10 章問い合わせ 2–89.....	230
6.iii 第 10 章についての結論.....	242
7. 『医学問答集』の構造と出典：結論.....	242
IV. 『医学問答集』の異なる版.....	247
1. シリア語版.....	247
1.i アラビア語版とシリア語版の比較.....	248

## 目次

2. ラテン語版.....	260
2.i ラテン語版の構成.....	260
2.ii ラテン語版との内容比較.....	263
2.iii ラテン語印刷版第2-3論の構成.....	268
3. 『医学問答集』の著者 .....	270
3.i フナインとフバイシュの文体.....	270
3.ii 『医学問答集』第8章と第9章.....	275
4. アラビア語版・シリア語版・ラテン語版の関係 .....	278
V. 『医学問答集』の影響 .....	283
1. 自然精気.....	283
1.i フナイン以前.....	284
1.ii フナインとクスター（9世紀） .....	286
1.iii ラーズィーとマジュースィー（10世紀） .....	288
1.iv マスィーヒー（11世紀） .....	291
1.v イブン・スィーナー（11世紀） .....	293
1.vi イブン・アビー・サーディク（12世紀） .....	303
1.vii イブン・ルシュド（12世紀） .....	306
1.viii イブン・ナフィース（13世紀） .....	311
1.ix ダーウード・アンターキー（16世紀） .....	321
1.x 精気論についての結論.....	322
2. 非自然要素.....	323
2.i ガレノス：「非自然要素」の起源.....	325
2.ii アレクサンドリア集成.....	327
2.iii フナイン .....	327
2.iv ラーズィー .....	330
2.v マジュースィー .....	332
2.vi マスィーヒー .....	333
2.vii イブン・スィーナー .....	334

2.viii イブン・アビー・サーディク .....	337
2.ix イブン・ルシュド .....	338
2.x 非自然要素についての結論 .....	339
3. 『医学問答集』の影響：結論 .....	341
結論 .....	343
付録 1：『医学問答集』全訳 .....	349
2010 年版からの修正点 .....	445
付録 2：相違箇所一覧 .....	451
『医学問答集』アラビア語版とシリアル語版の相違箇所一覧 .....	451
『医学問答集』アラビア語版とラテン語版『医学入門』の相違箇所一覧 .....	509
参考文献 .....	523
写本資料 .....	523
一次資料 .....	523
二次資料 .....	534

## 凡例

- 文献の略記は、卷末の参考文献表に記す。
- アラビア語の翻字は、*The Encyclopaedia of Islam, Three* (Leiden: Brill, 2007-) の方式に従う。
- 単語ではなく文を翻字して示す際には、アラビア語の格語尾を上付き文字で表記する。ただし、下記の例のように、格表記の必要のない部分は省略することがある。

例：al-umūr allatī laysat bi-ṭabī‘iyat<sup>in</sup>（この形では umūr は格が無関係である）

- アラビア語の人名をカタカナに置き換える際は、原則として定冠詞(al-)を省略する。

例：イブン・ナディーム (Ibn al-Nadīm)

- シリア語の翻字は、*Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage* (Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011), X の方式 (E. Syr.) に従う。ただし、母音は長短を区別する。実際の発音が不明な単語については、子音のみを大文字斜体で記す。

- 特別な場合を除き、年代は西暦で表記する。
- ガレノスの著作を指示する際は、キューン版 (C. G. Kühn [ed.], *Claudii Galeni Opera omnia*, 22 vols. [Lipsiae: Cnoblochii, 1821–33]) に基づき、慣例に従って表記する (例：VI 64 K. [=キューン版第 6 卷 64 頁])。新しい校訂版がある場合には、そちらも参照する。現代語訳については、特別な場合を除いて指示しない。
- ヒポクラテスの著作を指示する際は、リトレ版 (É. Littré [ed.], *Oeuvres complètes d'Hippocrate*, 10 vols. [Paris: J. B. Baillière, 1839–61]) に基づく。
- ギリシア語著作の原語表記については、ギリシア語ではなくラテン語書名を記す。

本論文は5年以内に出版を予定しているため、序文のみ公表する。

# 序文

## 1. 医学の問答集

問題 (mas'ala/pl. masā'il) とそれに対する解答 (jawāb/pl. ajwiba) という形で議論を進める方法は、アラビア語圏に広く普及した。この方法は一種の文学形式として、学問的内容の文献に採用された。このような形式は古代末期のキリスト教文献においても使用されており<sup>1</sup>、アラビア語文献に対するその影響が指摘されている<sup>2</sup>。問題と解答による形式は医学の分野においても教育目的で採用された<sup>3</sup>。

その中でも、医者の知識を試験するために問答形式の文献は重要であった。医者の監査は医学知識をもつ医者のみならず、ムフタスィブ (muhtasib) と呼ばれる市場監督官の任務でもあった<sup>4</sup>。そのため、医学に関して専門知識をもたない人間でも医学知識を試験できるようなマニュアルが作成された。13世紀初めにアブドゥル＝アズィーズ・スラミー ('Abd al-Azīz al-Sulamī, 1208年没)<sup>5</sup>が執筆した『全ての医者のための試験の書 (Kitāb Imtiḥān al-atibbā' li-kāffat al-atibbā')』は、この目的に合わせて編纂された問答形式の著作である<sup>6</sup>。アイユーブ朝の高官に献呈されたこの著作は、「この著作を用いて、医学を知っていると主張する者の知識と、その理解がどれほどかを確かめ、その者の知識と仕事の質を明らかにする」ために書かれた<sup>7</sup>。

このジャンルで最古の文献の一つが、フナイン・ブン・イスハーグ・イバーディー

<sup>1</sup> Heinrich Dörrie & Hermann Dörries, "Erotapokriseis," *Reallexikon für Antike und Christentum* vol. 6 (Stuttgart: Anton Hiersemann, 1966), 342–370; Yannis Papadoyannakis, "Instruction by Question and Answer: The Case of Late Antique and Byzantine *Erotapokriseis*," in *Greek literature in late antiquity: dynamism, didacticism, classicism*, ed. Scott Fitzgerald Johnson (Aldershot: Ashgate, 2006), 91–105.

<sup>2</sup> H. Daiber, "Masā'il wa-adjwiba," *EI<sup>2</sup>*, VI, 636–639..

<sup>3</sup> George Makdisi, "The Scholastic Method in Medieval Education: An Inquiry into its Origins in Law and Theology," *Speculum* 49 (1974): 659; Gary Leiser, "Medical Education in Islamic Lands from the Seventh to the Fourteenth Century," *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* 38 (1983): 60; Anna Ayşe Akasoy, *Philosophie und Mystik in der späten Almohadenzeit* (Leiden: Brill, 2006), 114f.

<sup>4</sup> Cl. Cahen & M. Talbi, "Hisba," *EI<sup>2</sup>*, III, 485–489; Max Meyerhof, "La surveillance des professions médicales et para-médicales chez les arabes," *Bulletin de l'Institut d'Egypte* 26 (1943/44): 119–134; Sami Hamarneh, "Origin and Functions of the Hisbah System in Islam and its Impact on the Health Professions," *Sudhoff's Archiv* 48 (1964): 157–173; Emilie Savage-Smith, "Medicine," in *Encyclopedia of the History of Arabic Science*, ed. Roshdi Rashed, vol. 3 (London: Routledge, 1996), 940.

<sup>5</sup> IAU<sup>1</sup>, II, 192/2, 622; GALS, I, 894.

<sup>6</sup> Gary Leiser, "Medical Education," 71f.

<sup>7</sup> Gary Leiser & Noury Al-Khaledy (ed. & trans.), *Questions and Answers for Physicians: A Medical Arabic Study Manual by 'Abd al-Azīz al-Sulamī* (Leiden: Brill, 2004), 9. ただしライザーは、この著作が実際には試験用マニュアルなどではなく、スラミーの弟子のための私的教材であったと推測している (*ibid.*, 10–11)。

(Hunayn ibn Ishāq al-‘Ibādī, 873 年没) による『学生のための医学問答集 (*Kitāb al-Masā'il fī al-ṭibb li-l-muta'allimīn*)<sup>8</sup>』(以下『医学問答集』) である。正確にはこの著作はフナイン一人によるのではなく、フナイン没後に彼の甥で弟子であるフバイシュ・ブン・ハサン (Hubaysh ibn al-Hasan al-Aṣam, 没年不明) によって増補されたものであり<sup>9</sup>、フナインとフバイシュの共著と言える。しかし、フナインの著作として広く知られているため、以下では特別な場合を除き、「フナインの『医学問答集』」と言及する。

『医学問答集』は医者が必要とする基礎的な知識を、問答形式でまとめた著作である。アラビア語圏では医学の入門者向けの学習書として広く利用された<sup>10</sup>。その評価は高く、ニザーミー (Nizāmī, 12 世紀)<sup>11</sup>の『四つの講話 (*Chahār maqāla*)』は医者が学ばねばならない書物として、ヒポクラテスの『箴言 (*Aphorismi*)』に続けて『医学問答集』を挙げている<sup>12</sup>。同じく 12 世紀のイブン・ジュマイウ (Ibn Jumay', 1198 年没)<sup>13</sup>は『医学再興についてのサラーフ [・ッディーン]への単篇 (*Al-Maqāla al-ṣalāḥīya fī iḥyā' al-ṣinā'a al-tibbiyya*)』で、フナインの『医学問答集』を学んだだけでヒポクラテスやガレノスの著作を学んでいないのに、「医学を知ったと思い込み、病人の診療に取り掛かる」者どもが多いことを非難している<sup>14</sup>。『医学問答集』の学習のみで満足する人々への否定的な判断ではあるが、『医学問答集』が学習書として重宝されていたことが読み取れる。また、医者の試験をする際に、多くのムフタスィブが『医学問答集』を利用したことでも伝えられている<sup>15</sup>。さらに、『医学問答集』には少なくとも 9 点の注釈書、4 点の要約書が作成された。これらは判明している限りで 10–13 世紀の人物によるものであり<sup>16</sup>、『医学問答集』

<sup>8</sup> 著作の題名を直訳すれば『学生のための医学問題集』であるが、問題だけではなく、それに対する解答も含まれているため、『問答集』と訳した。

<sup>9</sup> Nadīm<sup>1</sup>, 294/2, 464; Qiftī, 173; IAU<sup>1</sup>, I, 197/2, 248f.

<sup>10</sup> Cyril Elgood, *A Medical History of Persia and the Eastern Caliphate: From the Earliest Times until the Year A.D. 1932* (Cambridge: Cambridge University Press, 1951), 239f.; Friedrun R. Hau, “Die Bildung des Arztes im islamischen Mittelalter,” *Clio Medica* 13 (1978): 187; Sami K. Hamarneh, “Medical Education and Practice in Islam,” in *Health Sciences in Early Islam: Collected Papers*, ed. Munawar A. Anees, vol. 1 (Blanco: Zahra Publications, 1983), 143.

<sup>11</sup> H. Massé, “Nizāmī ‘Arūdī Samarkandī,” *EI<sup>2</sup>*, VIII, 76.

<sup>12</sup> 1156 年執筆とされる。Mírzá Muhammad (ed.), *Charár maqála (“the Four Discourses”) of Aḥmad ibn ‘Umar ibn ‘Alí an-Nizámí al-‘Arúdī as-Samarqandí* (Leiden: E. J. Brill, 1910), 70.

<sup>13</sup> J. Vernet, “Ibn Djāmi’,” *EI<sup>2</sup>*, III, 749f.; “Ibn Djumay’,” *EI<sup>2</sup>*, XII, 386.; GAL<sup>1</sup>, I, 643; GALS, I, 892; Ullmann, 164f.

<sup>14</sup> Hartmut Fähndrich (ed. & trans.), *Treatise to Salāḥ ad-Dīn on the Revival of the Art of Medicine* (Wiesbaden: Franz Steiner, 1983), 28.

<sup>15</sup> Sami Hamarneh, *Index of Arabic Manuscripts on Medicine and Pharmacy at the National Library of Cairo* (Cairo: Dâr al-Mâḥâsin Press, 1967), 23; Sami K. Hamarneh, *Index of Manuscripts on Medicine, Pharmacy, and Allied Sciences in the Zāhiriyah Library* (Damascus: Al-Taraqqî Press, 1968), 73;

<sup>16</sup> GAS III, 249–251. 『医学問答集』注釈の著者には、イブン・スィーナーやイブン・ナフィー

集』が長い間人気を博していたことが分かる。

この著作は『ヨハンニティウスの（ガレノス『医術』）入門 (*Isagoge Iohannitii [ad Tegni Galeni]*)』（以下、『医学入門』）としてラテン語に翻訳され、遅くとも11世紀には伝わっている。これはおそらく、ヨーロッパに伝わったアラビア語医学文献の最古の1つであり<sup>17</sup>、その名の通りガレノスの『医術 (*Ars medica/Ars parva/[Micro]tegni*)』への入門書として、あるいはガレノス医学全体の入門書として理解された。そのため、中世ヨーロッパの医学教育において非常に高く評価され、論理学教育においてポルフュリオスの『イサゴーゲ (*Isagoge*)』が担ったのと同等の位置を、医学教育において占めることとなつた<sup>18</sup>。特に、12世紀にサレルノの医学校で成立した医学生の必修書群であるアルティセラ (*Articella*) に『医学入門』が算入されたことは重要である<sup>19</sup>。その初期の写本（12世紀初頭）には『医学入門』の他に、ヒポクラテスの『箴言』と『予後 (*Prognosticon*)』、テオフィロス (*Theophilus*)<sup>20</sup>の『尿について (*De Urinis*)』、フィラレトス (*Philaretus*)<sup>21</sup>の『脈拍について (*De Pulsibus*)』が含まれている<sup>22</sup>。後に『医学入門』に関連づけられたガレノスの『医術』は12世紀半ばになってから加えられたようであり、『医学入門』は当初ガレノスの著作とは無関係に評価されていたことが分かる。アルティセラはそれ

---

スといった高名な医学学者も含まれる。本論文第2章70頁参照。

<sup>17</sup> Danielle Jacquot, “The Influence of Arabic Medicine in the Medieval West,” in *Encyclopedia of the History of Arabic Science*, ed. Roshdi Rashed, vol. 3 (London: Routledge, 1996), 963–970.

<sup>18</sup> George Sarton, *Introduction to the History of Science*, vol. 1 (Baltimore: Williams & Wilkins), 1927: 611.

<sup>19</sup> 12世紀のサレルノで成立した基礎的な医学書の集成である。アルティセラに含まれる作品は徐々に追加されていったが、『医学入門』は最初期からその一つに数えられる。Heinrich Schipperges, *Die Assimilation der arabischen Medizin durch das lateinische Mittelalter* (Wiesbaden: Franz Steiner Verlag, 1964), 33f., 99, 112; Paul Oskar Kristeller, “Bartholomaeus, Musandinus and Maurus of Salerno and Other Early Commentators of the «Articella», with a Tentative List of Texts and Manuscripts,” *Italia medioevale e umanistica* 19 (1976): 57–87; Mark D. Jordan, “Medicine as Science in the Early Commentaries on ‘Johannitius’,” *Traditio* 43 (1984): 121–145; D. Jordan, “The Construction of Philosophical Medicine: Exegesis and Argument in Salernitan Teaching on the Soul,” *Renaissance Medical Learning: Evolution of a Tradition*, ed. Michael R. McVaugh & Nancy G. Siraisi (Philadelphia, PA: History of Science Society, 1990), 42–61; Danielle Jacquot & Françoise Micheau, *La médecine arabe et l’Occident médiéval* (Paris: Maisonneuve et Larose, 1990), 124f.; Roger French, *Medicine before Science: The Business of Medicine from the Middle Ages to the Enlightenment* (Cambridge: Cambridge University Press, 2003), 72–74.

<sup>20</sup> Theophilus Protospatharius. 7世紀前半。George Sarton, *Introduction to the History of Science*, vol. 1, 478. Max Neuburger, *Geschichte der Medizin*, vol. 2, part 1 (Stuttgart: Ferdinand Enke, 1911), 120f.

<sup>21</sup> 『脈拍について』の著者とされるフィラレトスについては、詳細が不明である。

<sup>22</sup> Kristeller, “Bartholomaeus, Musandinus and Maurus of Salerno,” 66; Jordan, “The Construction of Philosophical Medicine,” 42f.

以後注釈書の追加や著作の入れ替えがされていくことになるが<sup>23</sup>、16世紀までヨーロッパの大学医学部の教科書として利用され続けることとなる<sup>24</sup>。

以上のように、『医学問答集』はイスラーム医学<sup>25</sup>においても中世ヨーロッパの医学においても、医学教育の中で大きな位置を占めており、医学史上で非常に重要な文献である。

イスラーム勃興前の中東の医学教育は、ガレノスのいわゆる「十六書」を中心となっていて、『医学問答集』は特にこの中の1点である『医術』に依拠していると考えられてきた<sup>26</sup>。『医学問答集』は全部で10の章、第1章：自然要素（身体の構成要素）について、第2章：自然から外れた状態（=病気）について、第3章：病気の原因について、第4章：徵候について、第5章：治療について、第6章：単純薬品および複合薬品について、第7章：脈拍について、第8章：別区分による医学理論について、第9章：発熱と腫瘍について、第10章：尿について、に分けられる<sup>27</sup>。この簡単な概要にも現れているのだが、『医学問答集』には『医術』に依拠したというだけでは説明ができない内容が多く含まれている。『医学問答集』の成り立ちについては、未だ充分には明らかになっていないのである。

この状況を踏まえ、本論文ではフナインの『医学問答集』に焦点を当てて、その成立過程の解明を試みる。『医学問答集』は「学生のための」ものであり、初心者向けつまり教育目的で作成されたものである。そのため、この著作には当時の医学教育の実態が

<sup>23</sup> ただし、場合によっては『医学入門』とテオフィロスやフィラレトスの著作が除外されることもあった。French, *Medicine before Science*, 100.

<sup>24</sup> Karl Sudhoff, “Salerno, Montpellier und Paris um 1200,” *Archiv für Geschichte der Medizin* 20 (1928): 51–62; Karl Sudhoff, “Medizinischer Unterricht und seine Lehrbehelfe im frühen Mittelalter,” *Sudhoffs Archiv für Geschichte der Medizin* 21 (1929): 28–37; Danielle Jacquot, *La médecine médiévale dans le cadre parisien, XIV<sup>e</sup>–XV<sup>e</sup> siècle* ([Paris]: Fayard, 1998), 161–173. アルティセラの印刷版は初版1476年から1534年まで、18以上の版を重ねた。Jon, Arrizabalaga, *The Articella in the Early Press c.1476–1534* (Cambridge: Cambridge Wellcome Unit for the History of Medicine, 1998).

<sup>25</sup> 本論文ではイスラームの支配域で展開・発展した医学を「イスラーム医学（Medicine in Islam）」と呼ぶ。イスラーム圏で活躍した著名な医者の多くはムスリムではなく、その医学はイスラームという宗教と必ずしも結びついているわけではない。また、その文献の多くはアラビア語で著されているが、ペルシア語やヘブライ語の著書を残したアラブ以外の医学者も多い。そのため、「アラビア医学（Arabian/Arabic Medicine）」も適さないため、このように規定する。なお、本論文の研究対象であるフナイン『医学問答集』はキリスト教徒によってアラビア語・シリアル語で書かれた。

<sup>26</sup> Albert Z. Iskandar, “Hunayn ibn Ishāq: Hunayn the Translator, Hunayn the Physician,” *CDSB*, XV, 239. ドールス&ガマルも同様に、『医学問答集』を『医術』と関連づけている。Michael W. Dols & Adil S. Gamal, *Medieval Islamic Medicine: Ibn Ridwan's Treatise “On the Prevention of Bodily Ills in Egypt”* (Berkeley: University of California Press, 1984), 7f.

<sup>27</sup> 詳細は、本論文第2章参照。

反映されていると考えられる。『医学問答集』の構造の解明は、9世紀以前の医学教育の状況を考える上で大きな助けになるであろう。

## 2. 『医学問答集』の先行研究

### 2.i アラビア語版

著者のフナイン・ブン・イスハーカーに関してはこれまで多数の研究がある。しかし、それは翻訳者としてのフナイン、あるいは彼とその同僚を含めた翻訳者グループを論じる研究が主である<sup>28</sup>。そのため、フナイン自身の著作を扱うものは少なく<sup>29</sup>、『医学問答集』を扱った研究も以下の数点に限られている。

- Gotthelf Bergsträsser, *Hunain ibn Ishāk und seine Schule: Sprach- und literargeschichtliche Untersuchungen zu den arabischen Hippokrates- und Galen-Übersetzungen* (Leiden: E. J. Brill, 1913).

フナインとその翻訳者グループの翻訳手法を分析した研究であり、判断基準の一つとして『医学問答集』を扱っている。その中で、フナインに帰せられた部分とフバイシュによる増補部分との区切りが伝承によって異なることを指摘し、それを判断するためにフナインとフバイシュの文体比較を適用している<sup>30</sup>。『医学問答集』の扱いはこの問題に限られており、分析されているのはその一部分に過ぎない。

- Danielle Jacquot & Nicoletta Palmieri, “La tradition alexandrine des *Masā'il fī t-tibb* de Hunain ibn Ishāq,” in *Storia e ecdotica dei testi medici greci: Atti del II Convegno Internazionale Parigi 24–26 maggio 1994*, ed. Antonio Garzya & Jacques Jouanna (Napoli: M. D’Auria, 1996), 217–36.

『医学問答集』を古代末期アレクサンドリアの医学伝統という観点で分析したもので、おそらく現時点でも最も大きく『医学問答集』を扱っている。著者は特にガレノスによる4点の初心者向けの著作（『医術』、『学派について（De Sectis）』、『医術、グラウコンの

<sup>28</sup> 例えば、Max Meyerhof, “Les versions syriaques et arabes des écrits galéniques,” *Byzantion* 3 (1926): 35–51; Lufti M. Sa‘di, “A Biobibliographical Study of Hunayn ibn Is-haq al-Ibadi (Johannitius (809–877 A.D.),” *Bulletin of the Institute of the History of Medicine* 1934 (1934): 409–446; Myriam Salama-Carr, *La traduction à l'époque Abbasside* (Paris: Didier érudition, 1990)などがある。

<sup>29</sup> 例えば、Giuseppe Celentano, “Le petit traité de Hunayn ibn Ishāq sur la prophylaxie et la thérapie des dents,” *Arabica* 21 (1974): 245–251; Giuseppe Celentano, “Il trattato di Hunain ibn Ishāq sulla profilassi e terapia dei denti (*Qaul fī hifż al-asnān wa 'stişlāhihā*),” *Annali dell'Istituto Universitario Orientale di Napoli* 35 (1975): 45–80; Rainer Degen, “Eine weitere Handschrift von Hunain ibn Ishāqs Schrift über die Zahnheilkunde (*Qaul fī hifż al-asnān wa-l-litā wa-stişlāhihā*),” *Annali dell'Istituto Universitario Orientale di Napoli* 3 (1976): 236–243などがある。

<sup>30</sup> Bergsträsser, *Hunain ibn Ishāk*, 7. また、本論文第4章参照。

ために (*Ad Glauconem de Methodo medendi*)』、『脈拍について、初心者のために (*De Pulsibus ad tirones*)』) に注目し、それらに対するアレクサンドリア時代の注釈の影響を指摘している。ただし、この論文で扱われているのはラテン語の『医学入門』に翻訳された箇所が中心であり、アラビア語版の全体が分析されているわけではない。分量的に大きな部分であるはずの第 5, 6, 10 章についてはほぼ全く触れていない<sup>31</sup>。

アラビア語版の『医学問答集』を対象とした研究としては、これらの他に『医学問答集』の写本について扱ったものがある。

- Delio Vania Proverbio, “Sul più antico codice delle *Masā’il fī’t-tibb lil-muta‘allimīn* di Hunayn Ibn Ishāq (*Isagoge Iohannitii*),” *Atti della Accademia nazionale dei Lincei. Classe di scienze morali, storiche e filologiche. Rendiconti Serie IX*, 10 (1999): 57–92.

ギリシア語写本 (Biblioteca Statale del Monumento Nazionale di Grottaferrata, MS Crypt. B.a.XIV, ff. 323–324) に見つかった『医学問答集』の断片 (第 1 章の一部と 8 章の一部) について、他のアラビア語写本やラテン語版、ユダヤ・アラビア語版の写本と対応させて翻刻している。著者によれば、この写本の作成年代の下限は 1030 年であり、現在知られている限り『医学問答集』の最古の写本である。ただし 2 葉の断片でしかないため、その報告に留まっている。

もう 1 点、『医学問答集』の写本に関する報告と題された論文があるが、実際には該当の写本は全く別の著作である<sup>32</sup>。

『医学問答集』校訂版には 100 頁以上の解説と用語集が付されているが、あくまでも解説の範囲に留まっており、研究としては不十分である<sup>33</sup>。そのため、実質的にアラビア語版の研究はベルクシュトレッサーによるものとジャカール&バルミエリによるものの 2 点のみであると言える。これらの研究についても『医学問答集』を部分的にのみ扱っており、この著作を充分に研究しているとは言えない。

<sup>31</sup> そもそも章分けを採用していない。第 6 章については治療 (ilāj al-tibb) として第 5 章から一括しており、特に語っていない。なお、これに基づいてバルミエリがアレクサンドリア時代の医学伝統における理論の発展を整理した研究がある。ここでも『医学問答集』は触れられているが、やはり同様の問題を抱えている。Nicoletta Palmieri, “La théorie de la médecine des Alexandrins aux Arabes,” *Les voies de la science grecque: Étude sur la transmission des textes de l’Antiquité au dis-neuvième siècle*, ed. Danielle Jacquart (Paris: Droz, 1997), 33–133.

<sup>32</sup> R. Y. Ebied & M. J. L. Young, “A Manuscript of Hunayn’s *Masā’il ilm al-tibb* in the Leeds University Collections,” *Arabica* 21 (1974), 264–269. リーズ大学の所蔵する写本 (Arab. 265) に発見されたフナインによる問答集についての報告である。著者はこの写本が『医学問答集』であるとしているが、記載されているタイトルは『フナインによる医学についての問答が含まれた優れた書物 (*Kitāb jalīl fī-hi masā’il Hunayn fī ‘ilm al-tibb*)』であり、また論文中に引用されている断片も『医学問答集』には登場しない問題であるため、この写本の問答集は『医学問答集』とは異なるものである。

<sup>33</sup> *Masā’il*, 360–439, 453–473.

## 2.ii ラテン語版

ラテン語版『医学入門』を中心に扱った研究は、その校訂を含めていくつか存在する。

- Diego Gracia & José-Luis Vidal, “La «Isagoge de Iohannitius»: introducción, edición, traducción y notas,” *Asclepio* 26/27 (1974/75): 267–382 [= *Isagoge<sup>GV</sup>*].

グラシア&ヴィダルはラテン語版の校訂とそのスペイン語訳を初めて出版した。ただし、この版はルネサンス期の印刷版（1523, 1534, 1557年）のみに依拠しており、校訂版として信頼するには不充分である。著者らはこのラテン語の『医学入門』がアラビア語の著作とは無関係であり、ギリシア語で書かれた入門書からの直接のラテン語訳であるという説を唱えた。その仮説を以下に引用する。

ここまで説明してきたことから、重要な結論が導き出せる。すなわち、ヨハンニティウスの『イサゴーゲ（Isagoge）』は、まず間違いなくアレクサンドリアで作成されたということである。おそらく、アレクサンドリアの編纂者がガレノスの『医術』——彼らの編纂した書物の2番目のもの——の前に置いた要綱（summarium）であったのだろう。この仮説が正しければ、その構造と内容はそのガレノスの著作だけでなく、その叢書16点から、その〔叢書に〕に配された通りに理解せねばならない。言い換えれば、ヨハンニティウスの『イサゴーゲ』は『医術』の入門であるのみならず、ガレノスの「十六書」の入門でもあるのである……<sup>34</sup>

それに従えば、『医学問答集』はアレクサンドリアに由来する『エイサゴーゲ（Eisagogé）』に依拠している。フナインはそれをシリア語に、そしておそらくアラビア語にも翻訳し、それと同時に、より理解しやすいものにするために、修正して拡充したことになる。<sup>35</sup>

- Diego Gracia Guillén & A. J. Álvarez Vizcaíno, “El galenismo medieval a través de la «Isagoge Iohannitii»,” in *Galen: obra, pensamiento e influencia (Coloquio internacional celebrado en Madrid, 22–25 de Marzo de 1988)*, ed. J. A. López-Férez (Madrid: Universidad National, 1991), 253–272.

後にグラシアは『医学入門』についての論文を発表しているが、そこでもこの説を採っている。しかし、この仮説自体は以下の反論がなされており、現在では受け入れていない。

- Ursula Weisser, “Noch einmal zur Isagoge des Johannicius: Die Herkunft des lateinischen Lehrtextes,” *Sudhoffs Archiv* 70 (1986): 229–235.

ヴァイサーによれば、ラテン語版の背後にはアラビア語版の『医学問答集』が見いだ

---

<sup>34</sup> *Isagoge<sup>GV</sup>*, 292f.

<sup>35</sup> *Isagoge<sup>GV</sup>*, 296.

せる。彼女は以下の 6 つの根拠から、ラテン語版がギリシア語著作ではなく、アラビア語著作の翻訳であることを示した。(1) 音写されたアラビア語単語が無いことは、アラビア語からの他の翻訳でも見られること。(2) 同語源単語の反復 (“figura etymologica”)。(3) アラビア語の表現に忠実な言葉遣い。(4) アラビア語のもつ、文脈にそぐわないニュアンスを汲んだ訳。(5) アラビア語を想定しなければ理解できない、いくつかの誤訳。(6) アラビア文字の誤読に由来すると考えられる誤訳。

- Danielle Jacquot, “À l'aube de la renaissance médicale des XI<sup>e</sup>–XII<sup>e</sup> siècles: l'«Isagoge Iohannitii» et son traducteur,” *Bibliothèque de l'École des chartes* 144 (1986): 209–240.

著者が計画していたアラビア語・ラテン語版の校訂のために集めた資料に基づいて、両者を比較研究したものである。しかし、重点はラテン語版にあり、アラビア語版との構造比較、その用語の特徴、翻訳者の推定が行われている。ヴァイサーと同様にグラシア&ヴィダルの説を否定しており、同一の概念を指すためにアラビア語が複数の単語を使い分けているのに対応して、ラテン語版も異なる表現を使っている点を新たに挙げている。

ラテン語版にはグラシア&ヴィダル版以外にも校訂があるが、いずれも決定的なものとは言えない。

- Antoine Mansourati, “Le livre ‘Isagoge’ de Hunayn ibn Ishaq dit Johannitius (808–873)” (M.D. diss., Université Pierre et Marie Curie, 1986).

ラテン語版 (Paris, Bibliothèque de la faculté de médecine, MS 75169) と、対応するアラビア語 (Gotha, Universitäts- und Forschungsbibliothek Erfurt/Gotha, MS Or. A 2028) とを翻刻し、フランス語訳を付したものである。内容の分析などには至っておらず、またラテン語版に準拠しているため、アラビア語版については大部分が無視されてしまっている。

- Gregor Maurach, “Johannicius *Isagoge ad Techne Galieni*,” *Sudhoffs Archiv* 62 (1978): 148–174 [= *Isagoge<sup>M</sup>*].
- Klaus-Dietrich Fischer, “Verbesserungen zur Isagoge des Johannicius,” *Sudhoffs Archiv* 67 (1983): 223–224.

前者は 12–13 世紀の写本に基づいたラテン語版の校訂であり、後者はその訂正である。純粹に校訂であり、文献や写本に関する情報以上の記述は見られない。なお、前者は上記グラシア&ヴィダルの論文を知らないまま発表されたものである。

このように、ラテン語版を扱った研究はいくつか存在するが、どれも規模が小さいものである。後述するように、これらが扱っているラテン語版をアラビア語版と比較すると、構造から大きく異なる<sup>36</sup>。そのため、これらの研究の成果が直接アラビア語版にも適用できるとは限らない。『医学問答集』および『医学入門』の研究は、ケッセルが指

---

<sup>36</sup> 本論文第 2 章、69 頁参照。

摘するように、未だ不十分と言わざるを得ないのである<sup>37</sup>。

### 3. イスラーム以前の医学教育

ラテン語版『医学入門』がアラビア語版のフナインの著作の翻訳であることが、現在では受け入れられている。しかし、グラシアとヴィダルが立てた仮説を改めて見ると、一つの問題が未解決のまま残されている。つまり、ギリシア語の時点で医学の問題集が既に存在していて、アラビア語版の『医学問答集』はその翻訳であるという可能性は完全には否定されていない<sup>38</sup>。ヴァイサーヤ・ジャカールによって示されたのはラテン語版がアラビア語版に基づいているということでしかなく、肝心のアラビア語版がどのように成立したのかは明確ではない。

既存の文献の翻訳でないとすれば、フナインはどのように『医学問答集』を執筆したのか。彼が『医学問答集』を執筆した際に利用できた資料は、どのようなものであったのか。フナイン以前にアラビア語で書かれた医学文献は極めて少ない<sup>39</sup>。というのも、アラビア語による医学研究の端緒となった医学文献が、そもそもフナインらの翻訳によって生み出されたからである。そのため、フナインが利用できた資料としてはアラビア語以外の文献が候補となる。フナイン以前の時代にはアラビア語への翻訳が皆無ではなかったものの、主にシリア語話者のキリスト教徒によってギリシアの医学がシリア語訳されて伝えられていたため、それらが筆頭に挙がる<sup>40</sup>。

<sup>37</sup> Grigory Kessel, review of *Hunayn ibn Ishaq's "Questions on Medicine for Students,"* by E. J. Wilson & S. Dinkha, *Hugoye: Journal of Syriac Studies* 15 (2012): 376.

<sup>38</sup> Cf. Hans Daiber, "Semitische Sprachen als Kulturvermittler zwischen Antike und Mittelalter: Stand und Aufgaben der Forschung," *Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft* 136 (1986): 304f.

<sup>39</sup> 例えばウルマンはフナイン以前にアラビア語で執筆した医学者として、バフティーシューウ家、イブン・ラジュラージュ (Ibn al-Lajlāj, 8世紀)、マスィーフ・ディマシュキー (Masīḥ al-Dimashqī, 8世紀)、サルマワイヒ・ブン・ブナーン (Salmawayh ibn Bunān, 9世紀前半)、フナインの師であるユーハンナー・ブン・マーサワイヒ (Yūḥannā ibn Māsawayh, 857年没) のみを挙げている。Ullmann, 108–115.

<sup>40</sup> Max Meyerhof, "Von Alexandrien nach Baghdad: Ein Beitrag zur Geschichte der philosophischen und medizinischen Unterrichts bei den Arabern," *Sitzungsberichte der Preussischen Akademie der Wissenschaften, Phil.-hist. Kl.* 1930 (1930): 400–405. ただし、ゴンディーシャープール (Gondīshāpūr, アラビア語で Jundīshāpūr, 現イラン) に医学校があったという説は否定されている (Peter E. Pormann & E. Savage-Smith, *Medieval Islamic Medicine* (Edinburgh: Edinburgh University Press, 2007), 20f.)。また、以下も参照。Meyerhof, "Les versions syriaques et arabes," 33–38; I. Madkour, "Les traducteurs chrétiens et la science arabe," in *Recherches d'islamologie*, ed. Georges C. Anawati & Louis Gardet (Louvain: Peeters, 1977), 201–205; Güll Russell, "Greece: x. Greek medicine in Persia," *EIr*, XI, 342–357; Philippe Gignoux, "Syriac Language: iii. Syriac Translators as the Medium for Transmission of Greek Ideas to Sasanian Iran," *Encyclopædia Iranica*, online edition, 2015,

教育目的の『医学問答集』を執筆する際に参照された資料は、当時の医学教育において重視されていたものと考えられる。そのため、フナインの資料を考える際にはまず、9世紀の中東における医学の状況が重要になる。ギリシア語文献をアラビア語に翻訳したフナインたちは、アッバース朝宮廷の要人や高名な医者の依頼に従って翻訳するタイトルを決めた。この時代の医者は大半がキリスト教徒であり<sup>41</sup>、イスラームのもとで庇護民（ズィンミー [dhimmi]）<sup>42</sup>でありながら特權的立場を維持するために、自らの医学伝統の補強を必要とした。その目的のため、彼らは（既に原語では読めなくなっていた）ギリシア語文献の（シリア語への）翻訳を支援したのである<sup>43</sup>。そして、中東のキリスト教徒の医者つまりシリア語の医学伝統は、古代末期の伝統に連なっている。

### ガレノスの「十六書」と「アレクサンドリア集成」

それではイスラーム以前、古代末期<sup>44</sup>における医学教育の実態はいかなるものであったのか。この問題について確実な結論は出ていないものの、1つの重要な研究がある。イスカンダー（A. Z. Iskandar）は1976年に発表した論文で、古代末期アレクサンドリアの医学教育カリキュラムを再構成する試みを行った<sup>45</sup>。そこでは、以下に挙げる16点のガレノス著作選集（「十六書（アラビア語で sitta ‘ashara）」と呼ばれる）が学ばれていたという説が主張されている。

#### 1. 『学派について（*De Sectis*）』<sup>46</sup>

---

<http://www.iranicaonline.org/articles/syriac-language-03-translators-greek-ideas> (2016年2月20日閲覧)

<sup>41</sup> Pormann & Savage-Smith, *Medieval Islamic Medicine*, 101f.; Raymond le Coz, *Les médecins nestoriens au moyen âge: les maîtres de Arabes* (Paris: L'Harmattan, 2004), 89f; Raymond le Coz, *Les chrétiens dans la médecine arabe* (Paris: L'Harmattan, 2006), 37

<sup>42</sup> Cl. Cahen, “Dhimma,” *EJ*<sup>2</sup>, II, 227–231; Yohanan Friedmann, “Dhimma,” *EJ*<sup>3</sup>, 2012-03, 87–92.

<sup>43</sup> Michael W. Dols, *Majnūn: the Madman in Medieval Islamic Society*, ed. Diana E. Immisch (Oxford: Clarendon Press, 1992), 38–47; Dimitri Gutas, *Greek Thought, Arabic Culture: the Graeco-Arabic Translation Movement in Baghdad and Early ‘Abbāsid Society (2nd–4th/8th–10th centuries)* (London: Routledge, 1998), 118f. (ディミトリ・グタス『ギリシア思想とアラビア文化』、山本啓二訳〔東京：勁草書房、2002年〕、133–134頁。) また、宮廷医の収入については、Felix Klein-Franke, *Vorlesungen über die Medizin im Islam* (Wiesbaden: Franz Steiner, 1982), 40–49; le Coz, *Les médecins nestoriens au moyen âge*, 103–126; le Coz, *Les chrétiens dans la médecine arabe*, 46–53 を参照。

<sup>44</sup> 本論文では古代末期（Late Antiquity）を6–7世紀の範囲で用いる。これは、アレクサンドリア集成が成立したと考えられる時代（本論文第2章74頁以下参照）を想定している。

<sup>45</sup> A. Z. Iskandar, “An Attempted Reconstruction of the Late Alexandrian Medical Curriculum,” *Medical History* 20 (1976): 235–258.

<sup>46</sup> I 64–105 K.; Georg Helmreich (ed.), *Claudii Galeni Pergameni scripta minora*, vol. 3 (Leipzig: Teubner, 1893), 1–32. 翻訳は、Ch. Daremberg (trans.), *Oeuvres anatomiques, physiologiques et médicales du Galien*, vol. 2 (Paris: J. B. Baillière, 1854), 376–397; Teresa Martínez Manzano (trans.),

2. 『医術 (Ars medica)』<sup>47</sup>
3. 『初心者のための脈拍について (De Pulsibus ad tirones)』<sup>48</sup>
4. 『グラウコンへの治療法について (Ad Glauconem de methodo medendi)』<sup>49</sup>
5. 『解剖について』 (= 『骨について (De Ossibus ad tirones)』<sup>50</sup>、『筋肉について (De Musculorum dissectione)』<sup>51</sup>、『神経について (De Nervorum dissectione)』<sup>52</sup>、『静脈と動脈について (De Venarum arteriarumque dissectione)』<sup>53</sup>)<sup>54</sup>
6. 『ヒポクラテスによる元素について (De Elementis ex Hippocrate)』<sup>55</sup>
7. 『混質について (De Temperamentis)』<sup>56</sup>
8. 『自然の機能について (De Facultatibus naturalibus)』<sup>57</sup>

*Galen: Tratados filosóficos y autobiográficos: introducciones, traducción y notas* (Madrid: Editorial Gredos, 2008), 111–139.

<sup>47</sup> I 305–412 K.; Véronique Boudon (ed. & trans.), *Galien: Tome II: Exhortation à l'étude de la médecine. Art médical* (Paris: Les Belles Lettres, 2000). 翻訳は、P. N. Singer (trans.), *Galen: Selected Works. Translated with an Introduction and Notes* (Oxford: Oxford University Press, 1997), 345–396.

<sup>48</sup> IX 431–549 K. 翻訳は、Singer, *Selected Works*, 325–344.

<sup>49</sup> XI 1–146 K. 翻訳は、Daremburg, *Oeuvres*, vol. 2, 706–784.

<sup>50</sup> II 732–778 K.; Ivan Garofalo (ed. & trans.), *Galien: Tome VII: Les os pour les débutants. L'anatomie des muscles* (Paris: Les Belles Lettres, 2005), 38–83; Michael Garrett Moore (ed. & trans.), “Galen, *Introduction to the Bones: A Critical Edition with Translated and Indices*” (Ph.D. diss., University of Michigan, 1969). 翻訳は、坂井建雄・池田黎太郎・澤井直（訳）『解剖学論集』（京都：京都大学学術出版会、2011年）、3–44頁。

<sup>51</sup> XVIIb 926–1026 K.; Garofalo, *Galien: Tome VII*, 118–209. 翻訳は、坂井・池田・澤井『解剖学論集』、143–229頁。

<sup>52</sup> II 831–856 K.; Ivan Garofalo (ed. & trans.), *Galien: Tome VIII: L'anatomie des nerfs. L'Anatomie des veines et des artères* (Paris: Les Belles Lettres, 2008), 26–49. 翻訳は、坂井・池田・澤井『解剖学論集』、85–106頁。

<sup>53</sup> II 779–830 K.; Garofalo, *Galien: Tome VIII*, 76–129. 翻訳は、坂井・池田・澤井『解剖学論集』、45–83頁。

<sup>54</sup> アレクサンドリアでガレノスによる解剖学系の小著が組み合わせられたものである。『静脈と動脈について』が『静脈について』と『動脈について』の2つに分割された上で、5点全体で1つの著作として扱われた。Iskandar, “An Attempted Reconstruction,” 245f.; *Risāla*<sup>1</sup>, 7–9<sup>2</sup>, 8–10 (no. 7–10); Ivan Garofalo, “La tradition de l'anatomie «pour étudiants» de Galien,” in *Storia e ecdotica dei testi medici greci*, eds. Garzya & Jouanna, 155f.

<sup>55</sup> I 413–508 K.; Phillip de Lacy (ed. & trans.), *Galeni de Elementis ex Hippocratis sententia*, CMG V 1,2 (Berlin: Akademie Verlag, 1996).

<sup>56</sup> I 509–694 K.; Georg Helmreich (ed.), *Galeni de Temperamentis libri III* (Leipzig: Teubner, 1904). 翻訳は、Singer, *Selected Works*, 202–289.

<sup>57</sup> II 1–204 K.; Helmreich, *scripta minora*, vol. 3, 101–257. Arthur John Brock (ed. & trans.), *Galen:*

9. 『原因と症状について』<sup>58</sup> (=『病気の種類について (*De Morborum differentiis*)』<sup>59</sup>、『病気の原因について (*De Causis morborum*)』<sup>60</sup>、『症状の差異について (*De Symptomatum differentiis*)』<sup>61</sup>、『症状の原因について (*De Symptomatum causis*)』<sup>62</sup>)
10. 『罹患した部位について (*De Locis affectis*)』<sup>63</sup>
11. 『脈拍について』<sup>64</sup> (=『脈拍の差異について (*De Differentiis pulsuum*)』<sup>65</sup>、『脈診について (*De Dignoscendibus pulsibus*)』<sup>66</sup>、『脈拍の原因について (*De Causis pulsuum*)』<sup>67</sup>、『脈拍の予後について (*De Praesagitione ex pulsibus*)』<sup>68</sup>)
12. 『発熱の差異について (*De Differentiis febrium*)』<sup>69</sup>
13. 『分利について (*De Crisibus*)』<sup>70</sup>
14. 『分利の日について (*De Diebus decretoriis*)』<sup>71</sup>
15. 『治療法について (*De Methodo medendi*)』<sup>72</sup>

---

*On the Natural Faculties* (London: W. Heinemann, 1916); Marzia Mortarino (ed. & trans.), *Galen: Sulle facoltà naturali* (Milano: Arnoldo Mondadori Editore, 1996). 翻訳は、Daremburg, *Oeuvres*, vol. 2, 212–284; 種山恭子（訳）『自然の機能について』（京都：京都大学学術出版会、1998年）。

<sup>58</sup> アレクサンドリアでガレノスの4点の著作が1つに組み合わされたものである。『症状の原因について』の全3巻と、他3点のそれぞれ1巻を合わせて、計6巻構成である。Iskandar, “An Attempted Reconstruction,” 246f.; *Risāla*<sup>1</sup>, 11f./<sup>2</sup>, 13 (no. 14).

<sup>59</sup> VI 836–880 K. 翻訳は、Ian Johnston (trans.), *Galen on Diseases and Symptoms* (Cambridge: Cambridge University Press, 2006), 131–156.

<sup>60</sup> VII 1–41 K. 翻訳は、Johnston, *on Diseases and Symptoms*, 157–179.

<sup>61</sup> VII 42–84 K.; Beate Gundert (ed. & trans.), *Galeni de Symptomatum differentiis*, CMG V 5,1 (Berlin: Akademie Verlag, 2009). 翻訳は、Johnston, *on Diseases and Symptoms*, 180–202.

<sup>62</sup> VII 85–272 K. 翻訳は、Johnston, *on Diseases and Symptoms*, 203–301.

<sup>63</sup> VIII 1–452 K. 翻訳は、Daremburg, *Oeuvres*, vol. 2, 468–705; Salud Andrés Aparicio, *Galen sobre la localización de las enfermedades (de Locis affectis)* (Madrid: Biblioteca Básica Gredos, 2002).

<sup>64</sup> こちらはガレノス自身の意図に基づいて組み合わされたものである。ただし、それぞれ4巻構成の4タイトルを合わせて計16巻となるのが本来の構造であったが、アレクサンドリアにおいて誤解され、4点それぞれの第1巻のみからなる計4巻構成の著作として利用された。

Iskandar, “An Attempted Reconstruction,” 247; *Risāla*<sup>1</sup>, 13–15/<sup>2</sup>, 15f. (no. 16).

<sup>65</sup> VIII 493–765 K.

<sup>66</sup> VIII 766–961 K.

<sup>67</sup> IX 1–204 K.

<sup>68</sup> IX 205–430 K.

<sup>69</sup> VII 273–405 K.

<sup>70</sup> IX 550–760 K.; Bengt Alexanderson (ed.), *Galenos Περὶ κρίσεων: Überlieferung und Text* (Stockholm: Almqvist & Wiksell, 1967).

<sup>71</sup> IX 761–941 K.

<sup>72</sup> X 1–1021 K.; Ian Johnston & G. H. R. Horsley (eds. & trans.), *Galen: Method of Medicine*, 3 vols.

## 16. 『健康維持について (De Sanitate tuenda)』<sup>73</sup>

この説は広く受け入れられている。フナインの『医学問答集』についても、イスカンダー自身がこの説に基づいて「主にガレノスの『医術』研究から生じた短い問題と、「アレクサンドリア集成 (Summaria Alexandrinorum)」に強く依拠した解答」であるとしている<sup>74</sup>。しかし、イスカンダーが上記の「十六書」の典拠としているのは11世紀のイブン・リドワーン ('Alī Ibn Ridwān, 1061年没)<sup>75</sup>の著作であり、これはイスラーム以前の事情を理解するためには遅い時代の史料である。フナイン自身の証言よりもイブン・リドワーンの証言が重視されていることもあり、この説は再度検討する必要がある<sup>76</sup>。

ここで言及されている「アレクサンドリア集成」とは、前述の「十六書」に基づいてアレクサンドリアで成立したとされる著作群である<sup>77</sup>。アラビア語では *Jawāmi‘ al-Iskandarāniyīn* と呼ばれている。その個々の著作も同様に、それぞれ *Jawāmi‘* と呼ばれる。この単語は文学形式としては広義の注釈の一種を指すが、厳密に原典テキストを引用して解説する形の注釈ではない。しかし同時に要約とも異なり、翻案 (paraphrase) に近いものである<sup>78</sup>。すなわち、原典テキストの議論展開にしたがった上で、内容の要約と拡充が行われたものである。特に、原典テキストには登場しない概念の説明が随所に挿入されているのが特徴である。現在伝わっているアレクサンドリア集成写本のほとんどは、イスカンダーが再構成した「十六書」と同一タイトルの集成を収録している。イスカンダーの『医学問答集』の評価を受け入れれば、『医学問答集』にはそれらアレクサンド

(Cambridge, MA, Harvard University Press, 2011). 翻訳は、Jacques Boulogne (trans.), *Galien Méthode de traitement: Traduction intégrale du grec et annotation* ([Paris]: Gallimard, 2009).

<sup>73</sup> VI 1–452 K.; Konrad Koch (ed.), *Galen de Sanitate tuenda*, CMG V 4,2 (Berlin: Teubner, 1923).

翻訳は、Robert Montraville Green (trans.), *A Translation of Galen's Hygiene (De Sanitate tuenda)* (Springfield, IL: Charles C. Thomas Publisher, 1951).

<sup>74</sup> Iskandar, “Hunayn ibn Ishāq,” 239.

<sup>75</sup> J. Schacht, “Ibn Ridwān,” EI<sup>2</sup>, III, 906f.; IAU<sup>1</sup>, II, 99–105/2, 516–523. GAL<sup>2</sup>, I, 367f.; GALS, I, 886; Ullmann, 158f.; Kahhāla, VII, 94; Khayr al-Dīn Ziriklī, *Al-A'lām: qāmūs tarājim*, vol. 4 (Beirut: Dār al-'Ilm al-Malāyīn, 2005), 289.

<sup>76</sup> 管見の限り、イスカンダーの説に対して批判的なのはルーシュのみである。Mossman Roueché, “Did Medical Students Study Philosophy in Alexandria?” *Bulletin of the Institute of Classical Studies* 43 (1999): 157.

<sup>77</sup> Der neue Pauly: Enzyklopädie der Antike, vol. 11 (Stuttgart : J. B. Metzler, 2001), s.v. “Summaria Alexandrinorum.”

<sup>78</sup> Dimitri Gutas, “Aspects of Literary Form and Genre in Arabic Logical Works,” in *Glosses and Commentaries on Aristotelian Logical Texts: The Syriac, Arabic and Medieval Latin Traditions*, ed. Charles Burnett (London: Warburg Institute, 1993), 29–76; Peter E. Pormann, “The Alexandrian Summary (*Jawāmi‘*) of Galen’s *on the Sects for Beginners*: Commentary or Abridgment?” in *Philosophy, Science and Exegesis in Greek, Arabic and Latin Commentaries*, vol. 2, ed. Peter Adamson, Han Baltussen & M. W. F. Stone (London: Institute of Classical Studies, 2004), 11–33.

## 本論文の構成

リア集成と共通するところがあるはずである。そうだとすれば、『医学問答集』の研究から、イスカンダーの説を再評価するための手がかりを得ることができるだろう。

前述の通り、ジャカール&パルミエリは『医学問答集』とアレクサンドリアの注釈・要約との関係を既に指摘しており、その中にはアレクサンドリア集成も含まれている。しかしながら、彼らはガロファロ (I. Garofalo) が私的に翻訳したものを利用し、それらの集成を間接的にのみ参照しており、16タイトルの全てを参照しているわけではない。また、『医学問答集』のうちラテン語に翻訳された部分を重点的に分析しているため、大部分が手つかずのままであり、その作業は充分ではない。そのため、改めて『医学問答集』の分析を行う必要がある。

### 4. 本論文の構成

以上の状況を鑑み、本論文では純粋に翻訳者としてのフナイン・ブン・イスハーカではなく医学者としてのフナインを理解するため、彼の自著である『医学問答集』を分析し、ギリシアからイスラーム、そしてヨーロッパへと続く医学史の中に位置づけることを試みる。

本論文は以下の構成を取る。

第1章では、フナインとその一派の活動を概観する。これを最初に行うのは、彼らがアラビア語あるいはシリア語に翻訳した医学文献を確認するためである。ここから、フナインが医学書を執筆する際に典拠として参照し得た文献が明らかになる。これを前提として、第3章以下で『医学問答集』の分析を行う。

第2章では第3章での分析に先駆けて、本論文の研究対象である『医学問答集』を概観する。具体的にはその構造に加え、その翻訳、その注釈・要約の情報を確認する。これらの事情は『医学問答集』とその前後の時代の文献との関係を間接的に物語っている。比較対象とするアレクサンドリア集成についても、ここでその特徴を確認する。

第3章ではアラビア語版の『医学問答集』を、その構造と出典という観点から、分析する。特に、これまで充分に検討されていない部分、すなわち第5, 6, 10章は重点的に見る。『医学問答集』の内容とその細かな構造を明らかにし、そしてその記述の由来をガレノスの著作やアレクサンドリア集成などとの比較を通じて調査する。なお、第3章では基本的にアラビア語版を分析対象とし、既にいくつかの研究があり、アラビア語版からの翻訳であるラテン語版は扱わない。ただし、近年刊行されたシリア語版はアラビア語版の分析においても有用であるため、そちらも参照する。

続く第4章では、『医学問答集』のシリア語版とラテン語版を分析する。前章での分析結果を踏まえた上で、シリア語版とアラビア語版がいかなる関係にあるのか、フナインの自著部分とフバイシュによる増補部分の区切りがどこにあるのかといった問題を解明する。また、ラテン語版についてもアラビア語版との構造や内容の比較によって、ラテン語版とアラビア語版の関係を明らかにする。

第5章は『医学問答集』そのものから離れ、この著作の後代への影響を検討する。従来、フナインの研究ではギリシア語文献の翻訳者としての活躍が中心的な問題であった。しかし、フナインの自著である『医学問答集』に対して多数の注釈書が作成されていることから、フナインが医学者（医学書の著者）としても後代へ影響力をもったと考えられる。その影響を追求することもまた、『医学問答集』の研究において欠くことができない。方法としては、『医学問答集』で新規に語られた数点の医学理論・概念を例に挙げ、それがフナイン以前にどのような扱いを受け、フナインがどのように変え、フナイン以後のイスラームの医学者にどのように扱われたかを見る。

また、本論文における分析結果を反映して改訂した日本語全訳と、アラビア語版・シリアル語版およびアラビア語版・ラテン語版の相違一覧を付録として収録する。

## 参考文献

### 写本資料

Bar Hebraeus, *Kitāb Tahritr Masā’il Ḥunayn ibn Ishāq*.

- MS ChB 4925 = Dublin, Chester Beatty, MS 4925 (AD 1700).

Ibn Abī Ṣādiq al-Naysābūrī, *Kitāb Sharḥ al-Masā’il fī al-ṭibb li-Ḥunayn ibn Ishāq*.

- MS BL 11613 = London, British Library, MS Or. 11613 (n. d., 1:1–6:59).
- MS BNF 2862 = Paris, Bibliothèque Nationale de France, MS arabe 2862 (AH 686 [AD 1288], 6:59–10:89).

MS BNF 2863 = Paris, Bibliothèque Nationale de France, MS arabe 2863 (AH 7C, 7:1–10:87).

MS BNF 6654 = Paris, Bibliothèque Nationale de France, MS arabe 6654 (AH 6–7C, 1:1–6:45).

MS Leiden 99 = Leiden, University of Leiden, MS Or. 99 (AH 692 [AD 1292/93], 1:1–6:59).

Ibn al-Nafīs, *Sharḥ al-Masā’il al-ṭibbiyya li-Ḥunayn*.

- Leiden, University of Leiden, MS Or. 49/2.

Ibn Rushd, *Sharḥ al-Urjūza fī al-ṭibb li-Ibn Sīnā*.

- MS Garrett 1094 = Princeton, Princeton University, MS Garrett 1094 (AH 885/AD 1480).

### 一次資料

Andalusī, Ṣā’īd al-. *Kitāb Tabaqāt al-umam, ou les catégories des nations*. Ed. Louis Cheikho. Beirut: Imprimerie Catholique, 1912.

Antākī, Dāwūd ibn ‘Umar al-. *Tadhhirkat Dāwūd al-Anṭākī*. Ed. Ahmad Shams al-Dīn. 2nd ed. Beirut: Dār al-Kutub al-‘Ilmīya, 2006.

Arberry, A. J. “An Early Arabic Translation from the Greek.” *Bulletin of the Faculty of Arts of the Cairo University* 1 (1933): 48–76, 79–120; 2 (1934): 71–105.

Bachman, Peter. *Galens Abhandlung darüber, daß der vorzügliche Arzt Philosoph sein muß*. Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 1965.

Badawī, ‘Abd al-Rahmān, ed. *Manṭiq Aristū*. 3 vols. Beirut: Dār al-Qalam, 1980.

Baffioni, Giovanni. “Scolii inediti di Palladio al *De sectis* di Galeno.” *Bollettino del Comitato per la preparazione della Edizione nazionale dei classici greci et latini* 6 (1958): 61–78.

Bar Hebraeus. *Chronicon ecclesiasticum*. Eds. Jean Baptiste Abbelons and Thomas Joseph Lamy. 3 vols. Paris: Maisonneuve, 1875–77.

———. *Chronicon syriacum*. Ed. Paul Bedjan. Paris: Maisonneuve, 1890.

———. *Ta’rīkh mukhtaṣar al-duwal*. Ed. Anṭūn Ṣālḥānī. Beirut: Al-Maṭba‘a al-Kāthūlīkīya, 1958.

- . *The Chronography of Gregory Abū 'l-Faraj 1225–1286*. Trans. Ernest A. Wallis Budge. 2 vols. Amsterdam: Apa-Philo Press, 1976.
- Bayhaqī, Zahīr al-Dīn al-. *Tatimmat Siwān al-ḥikma aw ta'rikh ḥukamā' al-Islām*. Ed. Muḥammad Kurd 'Alī. Paris: Bar Byblion, 2007.
- Bergsträsser, Gotthelf. *Neue Materialien zu Hunain Ibn Ishāq's Galen-Bibliographie*. Leipzig: Brockhaus, 1932.
- Biesterfeldt, Hans Hinrich. *Galens Traktat 'Dass die Kräfte der Seele den Mischungen des Körpers folgen'*. Wiesbaden: Franz Steiner, 1973.
- Bergsträsser, Gotthelf, ed. *Pseudogaleni in Hippocratis de Septimanis commentarii versio Arabica*. CMG XI 2,1. Leipzig: Teubner, 1914.
- Bos, Gerrit and Y. Tzvi Langermann, eds. and trans. *The Alexandrian Summaries of Galen's On Critical Days: Editions and Translations of the Two Versions of The Jawāmi'*, with an Introduction and Notes. Leiden: Brill, 2015.
- Chabot, J.-B. "Version syriaque de traités médicaux dont l'original arabe n'a pas été retrouvé." *Notices et extraits des manuscrits de la Bibliothèque Nationale* 43 (1954): 77–143. [= Chabot]
- Cheikho, Louis. "Majālis Ilīyā Muṭrān Nuṣaybīn." *Al-Machriq* 20 (1922): 33–44, 112–117, 117–122, 267–270, 366–377, 425–434.
- . "Risāla fī al-Farq bayna al-rūḥ wa-l-nafs." *Al-Machriq* 14 (1911): 94–109.
- . "Un traité inédit de Honein." In *Theodor Nöldeke zum siebzigsten geburtstag (2. März 1906): gewidmet von Freunden und Schülern und in Ihrem Auftrag*. Ed. Carl Bezold. Vol. 1. Gieszen: Alfred Töpelmann, 1906. 283–291.
- Dietrich, Albert. *Die Dioskurides-Erklärung des Ibn Baiṭār: Ein Beitrag zur arabischen Pflanzensynonymik des Mittelalters*. Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 1991.
- . *Dioscurides Triumphans: Ein anonymer arabischer Kommentar (Ende 12. Jahrh. n. Chr.) zur Materia medica*. 2 vols. Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 1988.
- Dioscorides. *Pedanius Dioscorides of Anazarbus: De materia medica*. Trans. Lily Y. Beck. Hildesheim: Olms, 2011.
- . *Pedanii Dioscuridis Anazarbei de Materia medica*. Ed. Max Wellmann. Berolini: Apud Weidmannos, 1907.
- Dols, Michael W. and S. Adil Gamal. *Medieval Islamic Medicine: Ibn Ridwan's Treatise "On the Prevention of Bodily Ills in Egypt"*. Berkeley: University of California Press, 1984.
- Galenus. *A Translation of Galen's Hygiene (De Sanitate tuenda)*. Trans. Robert Montraville Green. Springfield, IL: Charles C. Thomas Publisher, 1951.
- . *Claudii Galeni Opera omnia*. Ed. C. G. Kühn. 20 vols. Lipsiae: Cnoblochii, 1821–33.
- . *Claudii Galeni Pergameni scripta minora*. Ed. Iwan von Mueller. Vol. 2. Leipzig: Teubner, 1891.

- . *Claudii Galeni Pergameni Scripta minora*. Ed. Georg Helmreich. Vol. 3. Leipzig: Teubner, 1893.
- . *Galen Commentary on Hippocrates' Epidemics Book I Part I–III*. Ed. Uwe Vagelpohl. CMG V 1. Berlin: Walter de Gruyter, 2014.
- . *Galen: de Diebus decretoriis, from Greek into Arabic: a Critical Edition, with Translation and Commentary of Hunayn ib Ishāq, Kitāb ayyām al-buhrān*. Ed. and trans. Glen M. Cooper. Farnham: Ashgate, 2011.
- . *Galen: Method of Medicine*. Eds. and trans. Ian Johnston and G. H. R. Horsley. 3 vols. Cambridge, MA: Harvard University Press, 2011.
- . *Galen on Anatomical Procedures*. Trans. W. L. H. Duckworth. Cambridge: Cambridge University Press, 2010.
- . *Galen: On Antecedent Causes*. Trans. R. J. Hankinson. Cambridge: Cambridge University Press, 1998.
- . *Galen on Cohesive Cause*. Ed. and trans. Malcolm Lyons. CMG Supplement Orientale II. Berlin: Akademie Verlag, 1969.
- . *Galen on Diseases and Symptoms*. Trans. Ian Johnston. Cambridge: Cambridge University Press, 2006.
- . *Galen on Medical Experience*. Ed. and trans. R. Walzer. Oxford: Oxford University Press, 1944.
- . *Galen on Respiration and the Arteries*. Trans. David J. Furley and J. S. Wilkie. Princeton: Princeton University Press, 1984.
- . *Galen: On the Natural Faculties*. Ed. Arthur John Brock. London: W. Heinemann, 1916.
- . *Galen on the Usefulness of the Parts of the Body*. Trans. Margaret Tallmadge May. 2 vols. Ithaca: Cornell University Press, 1968.
- . *Galen: Selected Works. Translated with an Introduction and Notes*. Trans. P. N. Singer. Oxford: Oxford University Press, 1997.
- . *Galen: "Über die Anatomie der Nerven". Originalschrift und alexandrinisches Kompendium in arabischer Überlieferung*. Ed. and trans. Ahmad M. al-Dubayan. Berlin: Klaus Schwarz Verlag, 2000.
- . *Galen über die medizinischen Namen: Arabisch und deutsch herausgegeben*. Eds. and trans. Max Meyerhof and Joseph Schacht. Berlin: Verlag der Akademie der Wissenschaften, 1931.
- . *Galen über die Verschiedenheit der homoiomeren Körperteile*. Ed. and trans. Gotthard Strohmaier. CMG Supplement Orientale III. Berlin: Akademie Verlag, 1970.
- . *Galeni de Alimentorum facultatibus*. Ed. Georg Helmreich. CMG V 4,2. Leipzig: Teubner, 1923.

- . *Galeni de Differentiis febrium libri duo arabice conversi*. Ed. Claudio de Stefani. Pisa: Fabrizio Serra Editore, 2011.
- . *Galeni de Elementis ex Hippocratis sententia*. Ed. and trans. Phillip de Lacy. CMG V 1,2. Berlin: Akademie Verlag, 1996.
- . *Galeni de Placitis Hippocratis et Platonis*. Ed. and trans. Phillip de Lacy. CMG V 4,1,2. Berlin: Akademie Verlag, 2005.
- . *Galeni de Sanitate tuenda*. Ed. Konrad Koch. CMG V 4,2. Berlin: Teubner, 1923.
- . *Galeni de Symptomatum differentiis*. Ed. and trans. Beate Gundert. CMG V 5,1. Berlin: Akademie Verlag, 2009.
- . *Galeni de Temperamentis libri III*. Ed. Georg Helmreich. Leipzig: Teubner, 1904.
- . *Galeni de Usu partium libri XVII*. Ed. Georg Helmreich. Leipzig: Teubner, 1907–09.
- . *Galeni in Hippocratis de Officina medici commentariorum*. Ed. and trans. Malcolm Lyons. CMG Supplement Orientale I. Berlin: Academia Litterarum, 1963.
- . *Galeni in Hippocratis de Victu acutorum commentaria IV*. Ed. Georg Helmreich. CMG V 9,1. Leipzig: Teubner, 1914.
- . *Galeni in Hippocratis Epidemiarum librum I commentaria III*. Ed. Ernst Wenkebach. CMG V 10,1. Leipzig: Teubner, 1934.
- . *Galeni in Hippocratis Epidemiarum librum III commentaria III*. Ed. Ernst Wenkebach. CMG V 10,2,1. Leipzig: Teubner, 1936.
- . *Galeni in Hippocratis Epidemiarum librum VI commentaria I–VIII*. Ed. Ernst Wenkebach. CMG V 10,2,2. Berlin: Academia Litterarum, 1956.
- . *Galeni in Hippocratis Prognosticum commentaria III*. Ed. Josef Heeg. CMG V 9,2. Leipzig: Teubner, 1915.
- . *Galeni in Hippocratis Prorrheticum I commentaria III*. Ed. Hermann Diels. CMG V 9,2. Leipzig: Teubner, 1915.
- . *Galeni Librorum*. Venetiis: Aldus, 1525.
- . *Galeno sobre la localización de las enfermedades (de Locis affectis)*. Trans. Salud Andrés Aparicio. Madrid: Biblioteca Básica Gredos, 2002.
- . *Galeno: Sulle facoltà naturali*. Ed. and trans. Marzia Mortarino. Milano: Arnoldo Mondadori Editore, 1996.
- . *Galeno: Tratados filosóficos y autobiográficos: introducciones, traducción y notas*. Trans. Teresa Martínez Manzano. Madrid: Editorial Gredos, 2008.
- . *Galenos Περὶ κρίσεων: Überlieferung und Text*. Ed. Bengt Alexanderson. Stockholm: Almqvist & Wiksell, 1967.
- . *Galien Méthode de traitement: Traduction intégrale du grec et annotation*. Trans. Jacques Boulogne. [Paris]: Gallimard, 2009.

- . *Galien: Tome I: Introduction générale. Sur l'ordre de ses propres livres. Sur ses propres livres. Que l'excellent médecin est aussi philosophe.* Ed. and trans. Véronique Boudon-Millot. Paris: Les Belles Lettres, 2007.
- . *Galien: Tome II: Exhortation à l'étude de la médecine. Art médical.* Ed. and trans. Véronique Boudon. Paris: Les Belles Lettres, 2000.
- . *Galien: Tome VII: Les os pour les débutants. L'anatomie des muscles.* Ed. and trans. Ivan Garofalo. Paris: Les Belles Lettres, 2005.
- . *Galien: Tome VIII: L'anatomie des nerfs. L'anatomie des veines et des artères.* Ed. and trans. Ivan Garofalo. Paris: Les Belles Lettres, 2008.
- . *Jālīnūs al-Šinā‘a al-ṣaghīra.* Ed. Muḥammad Salīm Sālim. Cairo: Al-Hay'a al-Miṣrīya al-‘Āmma li-l-Kitāb, 1988.
- . *Kitāb Jālīnūs fī al-Iṣtaqisāt ‘alā Abqurāt.* Ed. Muḥammad Salīm Sālim. Cairo: Al-Hay'a al-Miṣrīya al-‘Āmma li-l-Kitāb, 1986.
- . *Kitāb Jālīnūs fī Firaq al-ṭibb li-l-muta‘allimīn.* Ed. Muḥammad Salīm Sālim. Cairo: Matba‘at Dār al-Kutub, 1977.
- . *Kitāb Jālīnūs ilā Ṭūtharan fī al-nabd li-l-muta‘allimīn.* Ed. Muḥammad Salīm Sālim. Cairo: Al-Hay'a al-Miṣrīya al-‘Āmma li-l-Kitāb, 1985.
- . *Oeuvres anatomiques, physiologiques et médicales du Galien.* Trans. Ch. Darembert. 2 vols. Paris: J. B. Baillièvre, 1854–56.
- . *Sieben Bücher Anatomie des Galen: ἀνατομικῶν ἐγχειρίσεων, βιβλίον θ–ιε. Zum ersten Male veröffentlicht nach den Handschriften einer arabischen Übersetzung des 9. Jahrh. n. Chr.* Ed. and trans. Max Simon. 2 vols. Osnabrück: Biblio Verlag, 1906.
- Garofalo, Ivan. *Erasistrati fragmenta: Colligit et digessit.* Pisa: Giardini editori e Stampatori, 1988.
- Gracia, Diego and José-Luis Vidal. “La «Isagoge de Iohannitius»: introducción, edición, traducción y notas.” *Asclepio* 26/27 (1974/75): 267–382. [= **Isagoge<sup>GV</sup>**]
- Hippocrates. Littré, É, ed. *Oeuvres complètes d'Hippocrate.* 10 vols. Paris: J. B. Bailière, 1839–61. [= **Littré**]
- . *Hippocratis de Aere aquis locis.* Ed. Hans Diller. CMG I 1,2. Berlin: Akademie Verlag, 1999.
- . *Hippocratis de Capitis vulneribus.* Ed. and trans. Maury Hanson. CMG I 4,1. Berlin: Akademie Verlag, 1999.
- . *Hippocrates: Volume I: Ancient Medicine. Airs, Waters, Places. Epidemics I and III. The Oath. Precepts. Nutriment.* Ed. and trans. W. H. S. Jones. London: Heinemann, 1923.
- . *Hippocrates: Volume II: Prognostic. Regimen in Acute Diseases. The Sacred Disease. The Art. Breaths. Law. Decorum. Physician (Ch. I). Dentition.* Ed. and trans. W. H. S. Jones. London: Heinemann, 1923.

- . *Hippocrates: Volume III: On Wounds in the Head. In the Surgery. On Fractures. On Joints. Mochlicon.* Ed. and trans. E. T. Withington. London: Heinemann, 1928.
- . *Hippocrates: Volume IV: Nature of Man. Regimen in Health. Humours. Aphorisms. Regimen I–III. Dreams.* Ed. and trans. W. H. S. Jones. London: Heinemann, 1931.
- . *Hippocrates: Volume VII: Epidemics II, IV–VII.* Ed. and trans. Wesley D. Smith. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1994.
- . *Hippocrates: Volume VIII: Places in Man. Glands. Fleshes. Prorrhetic I–II. Physician. Use of Liquids. Ulcers. Haemorrhoids and Fistulas.* Ed. and trans. Paul Potter. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1995.
- . *Hippocrates: Volume X: Generation. Nature of the Child. Diseases IV. Nature of Women and Barrenness.* Ed. and trans. Paul Potter. Cambridge, MA: Harvard University Press, 2012.
- . *Hippocratis de Aere locis aquis.* Ed. J. L. Heiberg. CMG I 1. Leipzig: Teubner, 1927.
- . *Hippocratis de Natura hominis.* Ed. and trans. Jacques Jouanna. CMG I 1,3. Berlin: Akademie Verlag, 2002.
- . *Hippocratis Iusiurandum.* Ed. J. L. Heiberg. CMG I 1. Leipzig: Teubner, 1927.
- . *Kitāb al-Ajinna li-Buqrāt. Hippocrates: On Embryos (On the Sperm and on the Nature of the Child).* Ed. and trans. M. C. Lyons. Cambridge: Cambridge Middle East Centre, 1978.
- . *Kitāb Buqrāt al-ma 'rūf bi-Qātiṭriūn ay Hānūt al-ṭabīb (Hippocrates In the Surgery).* Ed. and trans. M. C. Lyons. Cambridge: Cambridge Middle East Centre, 1968.
- . *Kitāb Buqrāt fī'l-Amrād al-bilādiyya. Hippocrates: On Endemic Diseases (Airs, Waters and Places).* Eds. and trans. J. N. Mattock and M. C. Lyons. Cambridge: Cambridge Middle East Centre, 1969.
- . *Kitāb Buqrāt fī Tabī'at al-insān (Hippocrates: On the Nature of Man).* Eds. and trans. J. N. Mattock and M. C. Lyons. Cambridge: Cambridge Middle East Centre, 1968.
- . *Kitāb Tadbīr al-amrād al-hādda li-Buqrāt (Hippocrates: Regimen in Acute Diseases).* Ed. and trans. M. C. Lyons. Cambridge: Cambridge Middle East Centre, 1966.
- . *The Aphorisms of Hippocrates: Translated into Arabic.* Ed. John Tytler. Calcutta: Committee of Public Instruction, 1832.
- . *Une version syriaque des Aphorismes d'Hippocrate: texte et traduction.* Ed. and trans. H. Pognon. 2 vols. Leipzig: J. C. Hinrichs'sche Buchhandlung, 1903.
- Harawi, Muhammad Ibn Jūsūf al-. *The Buhr-ool Juwāhir: A Medcial Dictionary by Mohammad Bin Yōōsoof, the Physician of Herat.* Ed. Hukeem Abd-ool Mujeed. Calcutta, 1830. (Reprint, Hildesheim: Georg Olms Verlag, 2005.)
- Harvey, William. *De Motu cordis.* Francofurti: Sumptibus Guilielmi Fitzeri, 1628.

- Ḩājjī Khalīfa. *Kashf al-żunūn ‘an asāmī al-kutub wa-l-funūn*. Ed. Gustavus Fluegel. 7 vols. Leipzig: Oriental Translation Fund of Great Britain and Ireland, 1835–58. [= **HKh**]
- Ḩunayn ibn Ishāq. *Al-Masā’il fī al-ṭibb li-Ḩunayn b. Ishāq*. Eds. Muḥammad ‘Alī Abū Rayyān, Mursī Muḥammad ’Arab and Jalāl Muḥammad Mūsā. Cairo: Dār al-Jāmi‘at al-Miṣrīya, 1978. [= **Masā’il**]
- . *Honein Ibn Ishāk, Sinnsprüche der Philosophen. Nach der hebräischen Übersetzung Charisi’s ins Deutsche übertragen und erläutert*. Trans. Albert Loewenthal. Berlin: S. Calvary, 1896.
- . *Hunain ibn Ishaq’s “Questions on Medicine for Students”: Transcription and Translation of the Oldest Extant Syriac Version (Vat. Syr. 192)*. Eds. E. Jan Wilson and Samuel Dinkha. Città del Vaticano: Biblioteca Apostolica Vaticana, 2010. [= **Vat.Syr.**]
- . *Ḩunayn b. Ishāq über die syrischen und arabischen Galen-Übersetzungen*. Ed. and trans. G. Bergsträsser. Leipzig: Brockhaus, 1925. [= **Risāla<sup>1</sup>**]
- . *Le livre des questions sur l’œil de Ḥonāin ibn Ishāq*. Eds. and trans. P. Sbath and M. Meyerhof. Cairo: Imprimerie de l’Institut français d’archéologie orientale, 1938.
- . *Nawādir al-falāsifa wa-l-ḥukamā’ wa-ādāb al-mu’allimīn al-qudamā’*. Ed. ‘Abd al-Rahmān Badawī. Jbeil: Dār wa-Maktaba Bīblyūn, 2009.
- . *Questions on Medicine for Scholars*. Trans. P. Ghalioungui. Cairo: Al-Ahram Center for Scientific Translations, 1980.
- . *Risālat Ḥunayn ibn Ishāq ‘ilā Alī ibn Yaḥyā fī dhikr mā turjima min kutub Jālīnūs*. Ed. and trans. Mahdī Muḥaqqaq. Teheran: Mu’assasah-i Muṭāli‘at-i Islāmī, 2001. [= **Risāla<sup>2</sup>**]
- . *The Book of the Ten Treatises on the Eye ascribed to Hunain ibn Is-hāq (809–877 A.D.)*. Ed. and trans. Max Meyerhof. Cairo: Government Press, 1928.
- Ibn ‘Abī Usaybi‘a. *‘Uyūn al-anbā’ fī ṭabaqāt al-āṭibbā’*. Ed. August Müller. 2 vols. Cairo: Al-Maṭba‘a al-Wahbīya, 1882. [= **IAU<sup>1</sup>**]
- . *‘Uyūn al-anbā’ fī ṭabaqāt al-āṭibbā’*. Ed. Muḥammad Bāsil ‘Uyūn al-Sūd. Beirut: Dār al-Kutub al-‘Ilmīya, 1998. [= **IAU<sup>2</sup>**]
- Ibn al-Nadīm. *Al-Fihrist*. Ed. Yūsuf ‘Alī Ṭawīl. Beirut: Dār al-Kutub al-‘Ilmīya, 2002. [= **Nadīm<sup>2</sup>**]
- . *Kitāb al-Fihrist*. Ed. Gustav Flügel. 2 vols. Leipzig: F. C. W. Vogel, 1871. [= **Nadīm<sup>1</sup>**]
- . *The Fihrist of al-Nadīm: A Tenth-Century Survey of Muslim Culture*. Trans. Bayard Dodge. New York: Columbia University Press, 1970.
- Ibn al-Nafīs. *Ibn al-Nafīs: Commentaire de l’Anatomie du Canon d’Avicenne*. Trans. Amor Chadli and Ahmed Ezzine Barhoumi. Tunis: Simpact, 2006.
- . *Kitāb Sharḥ tashrīh al-Qānūn*. Ed. Salmān Qatāya. Cairo: Al-Hay’at al-Miṣrīya al-‘Āmma li-l-Kitāb, 1988.

- . *Risālat al-A‘dā’*. Ed. Yūsuf Zīdān. Cairo: Al-Dār al-Maṣrīya al-Lubnānīya, 1991.
- Ibn al-Qiftī. *Ibn al-Qiftī’s Ta’rīh al-Hukamā’*. Ed. Julius Lippert. Leipzig: Dieterich’sche Verlagsbuchhandlung, 1903. [= **Qiftī**]
- Ibn Hindū, Abū al-Faraj. *Miftāḥ al-ṭibb wa-minhāj al-tullāb*. Eds. Mahdī Muhaqqiq and Muhammad Taqī Dānishpazhūh. Tehran: Institute of Islamic Studies, 1989.
- . *The Key to Medicine and a Guide for Students: Miftāḥ al-ṭibb wa-minhāj al-tullāb*. Trans. Aida Tibi. Reading: Garnet, 2011.
- Ibn Juljul. *Tabaqāt al-āṭibbā’ wa-l-hukamā’ wa-yalīhi Ta’rīkh al-āṭibbā’ wa-l-falāsifa*. Ed. Fu’ād Sayyid. Beirut: Mu’assasat al-Risāla, 1985. [= **Juljul**]
- Ibn Jumay’. *Treatise to Ṣalāḥ ad-Dīn on the Revival of the Art of Medicine*. Ed. and trans. Hartmut Fähndrich. Wiesbaden: Franz Steiner, 1983.
- Ibn Khallikān. *Wafayāt al-a‘yān wa-abnā’ anbā’ al-zamān*. Ed. Ihśān ‘Abbās. 8 vols. Beirut: Dār al-Thaqāfa, 1968–77.
- Ibn Rushd. *Averrois Cordubensis Colliget libri VII. Cantica item Avicennae cum eiusdem Averrois commentariis*. Venetiis: Apud Iunctas, 1562.
- . *El libro de las generalidades de la medicina [Kitāb al-Kulliyāt fī l-ṭibb]*. Trans. María de la Concepción Vázquez de Benito and Camilo Álvarez Morales. Madrid: Editorial Trotta, 2003.
- . *Kitāb al-Kulliyāt fī l-ṭibb*. Eds. J. M. Fórneas Besteiro and C. Alvrez de Mirales. 2 vols. Madrid: Consejo Superior de Investigaciones Científicas, 1987.
- Ibn Sīnā. *A Treatise on the Canon of Medicine of Avicenna*. Trans. O. Cameron Gruner. London: Luzac, 1930.
- . *Al-Qānūn fī al-ṭibb*. Ed. Muḥammad Amīn al-Ḏinnāwī. 3 vols. Beirut: Dār al-Kutub al-‘Ilmiyya, 1999.
- . *Avicenna’s Tract on Cardiac Drugs and Essays on Arab Cardiotherapy*. Ed. Hakeem Abdul Hameed. Karachi: Institute of Health and Tibbi [Medical] Research, 1983.
- . *Kitāb al-Qānūn fī al-ṭibb: ma ‘a ba ‘d ta’līfi-hi wa-huwa ‘ilm al-mantiq wa-‘ilm al-ṭabī‘ wa-‘ilm al-kalām*. Romae: In Typographia Medicea, 1593.
- . *Liber Canonis, de Medicinis cordialibus, et cantica*. Venetiis: Apud Iuntas, 1555.
- . *Min mu’allafāt Ibn Sīnā al-ṭibbīya*. Ed. Muḥammad Zuhayr Bābā. Aleppo: Jāmi‘at Ḥalab, 1984.
- . *Poème de la médecine*. Eds. and trans. Henri Jahier and Abdelkader Noureddine. Paris: Les Belles Lettres, 1956.
- . *Psychologie d’Ibn Sīnā, d’après son œuvre aš-Šifā’*. Ed. and trans. Ján Bakoš. 2 vols. Praha: Akadémie Tchécoslovaque des Sciences, 1956.
- . *The Canon of Medicine (Qānūn fī l-ṭibb)*. Ed. Laleh Bakhtiar. 5 vols. Chicago: Great Books of the Islamic World, 1999–2014.

- Iohannes Alexandrinus. *Iohannis Alexandrini Commentaria in librum De Sectis Galeni*. Ed. C. D. Pritchett. Leiden: Brill, 1982.
- Khamloussy, Ahmad el-. “Commented Translation of An Excerpt from Ḥunayn Ibn Ishāq’s Epistle to His Patron ‘Alī ibn Yaḥyā on The Transmission of Galen.” Master’s thesis. University of Ottawa, 1994.
- Leiser, Gary and Noury al-Khaledy, ed. and trans. *Questions and Answers for Physicians: A Medical Arabic Study Manual by ‘Abd al-Azīz al-Sulamī*. Leiden: Brill, 2004.
- Majūsī, ‘Alī ibn al-‘Abbās al-. *Kāmil aṣ-Ṣinā’ a at-ṭibbīya*. 2 vols. Frankfurt am Main: Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, 1996.
- Mansourati, Antoine. “Le livre ‘Isagoge’ de Hunayn ibn Ishaq dit Johannitius (808–873).” M.D. diss., Université Pierre et Marie Curie, 1986.
- Masīḥī, Abū Sahl Ḥasan ibn Yaḥyā al-. *Le livre des cent questions en médecine*. Ed. Floréal Sanagustin. 2 vols. Damas: Institut Français de Damas, 2000.
- Maurach, Gregor. “Johannicius *Isagoge ad Techne Galieni*.” *Sudhoffs Archiv* 62 (1978): 148–174.  
[= *Isagoge<sup>M</sup>*]
- Merx, A. “Proben der syrischen Uebersetzung von Galenus’ Schrift über die einfachen Heilmittel.” *Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft* 39 (1885): 237–305.
- Mingana, J., ed. and trans. *Encyclopaedia of Philosophical and Natural Sciences as taught in Baghdad about A.D. 817, or Book of Treasures, by Job of Edessa*. Cambridge: W. Heffer & Sons, 1935.
- Moore, Michael Garrett. “Galen, *Introduction to the Bones*: A Critical Edition with Translated and Indices.” Ph.D. diss., University of Michigan, 1969.
- Nemesius Emesenus. *Nemesii Emeseni de Natura hominis*. Ed. Moreno Morani. Leipzig: B. G. Teubner, 1987.  
———. *Nemesius on the Nature of Man*. Trans. R. W. Sharples and P. J. van der Eijk. Liverpool: Liverpool University Press, 2008.
- Nicolaus Damascenus. *Nicolaus Damascenus de Plantis: Five Translations*. Eds. and trans. H. J. Drossaart Lulofs and E. L. J. Poortman. Amsterdam: North-Holland Publishing Company, 1989.
- Nizāmī, Aḥmad ibn ‘Umar al-. *Chahár maqāla (“The Four Discourses”) of Aḥmad ibn ‘Umar ibn ‘Alī an-Nizāmī al-‘Arūdī as-Samarqandī*. Ed. Mírzá Muḥammad. Leiden: Brill, 1910.
- Opitz, Karl. “Avicenna: Das Lehrgedicht über die Heilkunde (Cantica de Medicina).” *Quellen und Studien zur Geschichte der Naturwissenschaften und der Medizin* 7 (1940): 304–374.

- Palladius. *De Febribus*. Lugduni Batavorum: Apud Philippum Bonk, et Trajecti ad Rhenum, Nicolaum Muntendam, 1745.
- . *Die Abhandlung Περὶ πυρετῶν σύντομος σύνοψις des Palladios von Alexandreia*. Eds. and trans. Peter Anreiter, Thomas Anreiter and Martin Kubin. [Wien]: Edition Praesens, 2003.
- Plinius. *Histoire naturelle de Pline: avec la traduction en français*. Ed. M. É. Littré. Paris: Chez Firmin-Didot et Cie, 1883.
- Qustā ibn Lūqā. *Risāla fī al-Farq bayna al-rūh wa-l-nafs*. Ed. ‘Alī Muḥammad Isbir. Damascus: Dār al-Yanābī‘, 2006.
- Rāzī, Abū Bakr Muḥammad ibn Zakariyā al-. *Al-Ḥāwī fī al-ṭibb*. Ed. Muḥammad Muḍammad Ismā‘īl. 8 vols. Beirut: Dār al-Kutub al-‘Ilmiya, 2000.
- . *Al-Maṇṣūrī fī al-ṭibb*. Ṣafāt: Ma‘had al-Makhtūtāt al-‘Arabīya, 1987.
- . *Kitāb al-Ḥāwī fī al-ṭibb*. 20 vols. Hayderabad: Matba‘at Majlis Dā’irat al-Ma‘ārif al-‘Uthmāniyya, 1955–67.
- . *Libro de la introducción al arte de la medicina o «Isagoge» de Abū Bakr Muḥammad b. Zakariyā al-Rāzī*. Ed. and trans. María de la Concepción Vázquez de Benito. Salamanca: Ediciones Universidad de Salamanca, 1979.
- Rosenthal, Franz. ‘Ishāq b. Ḥunayn’s Ta’rīḥ al-aṭibbā’.’ *Oriens* 7 (1954): 55–80.
- Ruhāwī, Ishāq ibn ‘Alī al-. *Adab al-tabīb*. Ed. Murayzin Sa‘īd Murayzin ‘Asīrī. Riyadh: Markaz al-Malik Fayṣal li-l-Buhūth wa-l-Dirāsāt al-Islāmīya, 1992.
- Sālim, Muḥammad Salīm, ed. *Kitāb Jālīnūs ilā Ghalaqan fī al-ta’attī li-shifā’ al-amrāq*. Cairo: Al-Hay’ā al-Miṣrīya al-‘Āmma li-l-Kitāb, 1982.
- Schacht, Joseph and Max Meyerhof, eds. and trans. *The Medico-Philosophical Controversy between Ibn Butlan of Baghdad and Ibn Ridwan of Cairo: A Contribution to the History of Greek Learning among the Arabs*. Cairo: The Egyptian University, 1937.
- Sezgin, Fuat, ed. *The Alexandrian Compendium of Galen’s Work, Jawāmi‘ al-Iskandarāniyyīn, translated by Ḥunayn ibn Ishāq (d. 260/873)*. 3 vols. Frankfurt am Main: Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, 2001–2004. [= **Jaw.Isk.**]
- Stephanus Atheniensis. *Stephanus the Philosopher and Physician: Commentary on Galen’s Therapeutics to Glaucōn*. Ed. and trans. Keith Dickson. Leiden: Brill, 1998.
- Theophrastus Eresius. *Theophrasti Eresii opera quae supersunt omnia*. Ed. Friederici Wimmer. Vol. 2. Lipsiae: Sumptibus et Typis B. G. Teubneri, 1854.
- Tkatsch, Jaroslaus, ed. *Die arabische Übersetzung der Poetik des Aristoteles: und die Grundlage der Kritik des griechischen Textes*. 2 vols. Wien: Hölder-Pichler-Tempsky, 1928.

- Walbridge, John, ed. *The Alexandrian Epitomes of Galen: Volume I: On the Medical Sects for Beginners. The Small Art of Medicine. On the Elements According to the Opinions of Hippocrates*. Provo: Brigham Young University Press, 2014. [= Walbridge]
- Wilcox, Judith Carol. "The Transmission and Influence of Qusta ibn Luqa's 'On the Difference between Spirit and the Soul'." Ph.D. diss., Yale University, 1985.
- Ya‘qūbī, al-. *Ibn-Wādhih qui dictur al-Ja‘qubī, Historiae*. Ed. Th. Houtsma. 2 vols. Leiden: Brill, 1883.
- アリストテレス『靈魂論・自然学小論集・氣息について』、山本光雄、副島民雄（訳）、東京：岩波書店、1968年。
- 『形而上学』、出隆（訳）、東京：岩波書店、1968年。
- 『天体論・生成消滅論』、村治能就、戸塚七郎（訳）、東京：岩波書店、1968年。
- 『動物誌 上』、島崎三郎（訳）、東京：岩波書店、1968年。
- 『動物誌 下・動物部分論』、島崎三郎（訳）、東京：岩波書店、1969年。
- 『動物運動論・動物進行論・動物発生論』、島崎三郎（訳）、東京：岩波書店、1969年。
- 『魂について』、中畠正志（訳）、京都：京都大学学術出版会、2001年。
- 『動物部分論・動物運動論・動物進行論』、坂下浩司（訳）、京都：京都大学学術出版会、2005年。
- 『生成と消滅について』、池田康男（訳）、京都：京都大学学術出版会、2012年。
- 『天界について・生成と消滅について』、山田道夫、金山弥平（訳）、東京：岩波書店、2013年。
- 『魂について・自然学小論集』、中畠正志、坂下浩司、木原志乃（訳）、東京：岩波書店、2014年。
- 『動物誌』上・下、金子善彦、伊藤雅巳、金澤修、濱岡剛（訳）、東京：岩波書店、2015年。
- イブン・スィーナ『アヴィセンナ「医学の歌」』、志田信男（訳）、東京：草風館、1998年。
- 『アヴィセンナ「医学典範」日本語訳』、檜学、新家博、檜晶（訳）、東京：第三書館、2010年。
- 『イブン・シーナ「魂について：治癒の書・自然学第六篇」』、木下雄介（訳）、東京：知泉書館、2012年。
- ガレノス『自然の機能について』、種山恭子（訳）、京都：京都大学学術出版会、1998年。
- 『解剖学論集』、坂井建雄、池田黎太郎、澤井直（訳）、京都：京都大学学術出版会、2011年。
- プラトン『ティマイオス；クリティアス』、種山恭子、田之頭安彦（訳）、東京：岩波書店、1975年。
- 伊東俊太郎（編）『イブン・スィーナ』、五十嵐一（訳）、東京：朝日出版社、1981年。

## 二次資料

- 大槻真一郎（編）『プリニウス「博物誌」：植物薬剤篇』、東京：八坂書房、1994年。
- 『新訂ヒポクラテス全集』全3巻、東京：エンタプライズ、1997年。
- 土屋陸廣（訳）「ガレノス『魂の能力は身体の混合に依存する』：序論・翻訳・訳注」『明治薬科大学研究紀要（人文科学社会科学）』26巻（1996年）：51–94頁。
- 矢口直英（訳）「フナイン・イブン・イスマーク著『医学の質問集』」『イスラーム世界研究』3巻2号（2010年）：416–477頁。

## 二次資料

- Abou Aly, Amal. "A Few Notes on Hunayn's Translation and Ibn al-Nafīs' Commentary on the First Book of the *Aphorisms*." *Arabic Sciences and Philosophy* 10 (2000): 139–150.
- Akasoy, Anna Ayşe. *Philosophie und Mystik in der späten Almohadenzeit*. Leiden: Brill, 2006.
- Altmann, Alexander. "Ishāq b. Sulaymān al-Isrā'īlī." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 4. Leiden: Brill, 1978. 111.
- . "Israeli, Isaac Ben Solomon." *Encyclopaedia Judaica*. Vol. 9. Jerusalem: Encyclopaedia Judaica, 1972. 1065f.
- Anawati, G. C. "Avicenniana: le manuscrit Nour Osmaniyye 4894." *Mélanges d'Institut dominican d'études orientales du Caire* 3 (1956): 381–386.
- . *Essai de bibliographie Avicennienne*. Cairo: Edition al-Maaref, 1950.
- . "Hunayn ibn Ishāq al-' Ibādī." *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 15. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 230–234.
- . "Ibn Sīnā, Abū 'Alī al-Husayn ibn 'Abdallāh." *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 6. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 494–498.
- anon. "Ibn Djumay'." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 12. Leiden: Brill, 2004. 386.
- Arberry, Arthur J. *A Handlist of the Arabic Manuscripts*. 8 vols. Dublin: Hodges, Figgis & Co., 1962.
- Arnaldez, R. "Ibn Rushd." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 909–920.
- . "Ibn Zuh̄r." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 976–979.
- . "Iṣṭifān b. Basīl." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 4. Leiden: Brill, 1997. 254f.
- Arrizabalaga, Jon. *The Articella in the Early Press c.1476–1534*. Cambridge: Cambridge Wellcome Unit for the History of Medicine, 1998.
- Aumer, Joseph. *Die arabischen Handschriften der K. Hof- und Staatsbibliothek in Muenchen*. München: In Commission der Palm'schen Hofbuchhandlung, 1866.

- Badawi, Abdurrahmān. *La transmission de la philosophie grecque au monde arabe*. Paris: J. Vrin, 1987.
- Balty-Guesdon, M.-G. "Le Bayt al-hikma de Bagdad." *Arabica* 39 (1992): 131–150.
- Baumstark, Anton. *Geschichte der syrischen Literatur: mit Ausschluß der christlich-palästinensischen Texte*. Bonn: Marcus und Webers, 1922.
- Ben Yahia, B. "Constantinus Africanus." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 2. Leiden: Brill, 1965. 59f.
- Bergsträsser, Gotthelf. *Hunain ibn Ishāk und seine Schule: Sprach- und literargeschichtliche Untersuchungen zu den arabischen Hippokrates- und Galen-Übersetzungen*. Leiden: E. J. Brill, 1913.
- Biesterfeldt, Hinrich. "Rāzī, Abū Bakr Muḥammad ibn Zakariyyā' al-." *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 24. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 211–216.
- . "Zur medizinischen Terminologie des arabisch-islamischen Mittelalters." In *La formation du vocabulaire scientifique et intellectuel dans le monde arabe*. Ed. Danielle Jacquot. Turnhout: Brepols, 1994. 66–86.
- Blau, Joshua. *A Grammar of Christian Arabic, based mainly on South-Palestinian texts from the first millennium*. 3 vols. Louvain: Secrétariat du CorpusSCO, 1966–67.
- Bloch, Herbert. *Monte Cassino in the Middle Ages*. 3 vols. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1986.
- Bono, James J. "Medical Spirits and the Medieval Language of Life." *Traditio* 40 (1984): 91–130.
- Bos, Gerrit and Y. Tzvi Langermann. "The Introduction of Sergius of Rēsh'ainā to Galen's Commentary on Hippocrates' *On Nutriment*." *Journal of Semitic Studies* 54 (2009): 179–204.
- Boudon, Véronique. "Galen's *On My Own Books*: New Material From Meshed, Rida, Tibb. 5223." In *The Unknown Galen*. Ed. Vivian Nutton. London: Institute of Classical Studies, 2002. 9–18.
- Boudon-Millot, Véronique. "Galen." *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2013-4. Leiden: Brill, 2013. 130–134.
- Brentjes, Sonja. "Uklīdis." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 10. Leiden: Brill, 2000. 792–794.
- Brentjes, Sonja and Gregg de Young. "Euclid." *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2013-4. Leiden: Brill, 2013. 114–120.
- Brock, S. P. "Sergios of Resh'ayna." *Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011. 366.
- Brockelmann, [C.]. "Al-Anṭākī." *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 1. Leiden: Brill, 1913. 358f.
- . "Barhebraeus." *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 1. Leiden: Brill, 1913. 657f.

- Brockelmann, C., Franz Nikolaus Finck, Johannes Leipoldt and Enno Littmann. *Geschichte der christlichen Litteraturen des Orients*. 2. Ausg. mit Berichtigungen. Leipzig: C. F. Amelangs Verlag, 1909.
- Brockelmann, C. and J. Vernet. “Al-Anṭākī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 1. Leiden: Brill, 1960. 516.
- Brockelmann, Carl. *Geschichte der arabischen Litteratur*. Zweite den Supplementbänden angepasste Auflage. 2 vols. Leiden: Brill, 1943–49. [= **GAL<sup>2</sup>**]
- Brockelmann, Carl. *Geschichte der arabischen Litteratur*. Supplemenbänden. 3 vols., Leiden: Brill, 1937–42. [= **GALS**]
- Browne, Edward G. *Arabian Medicine*. Cambridge: Cambridge University Press, 1921.
- Buchs, Mina. “Histoire d’une découverte: Ibn al-Nafīs et la circulation pulmonaire.” *Medicina nei Secoli* 7 (1995): 95–108.
- Bulmer-Thomas, Ivor. “Euclid.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 4. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 414–437.
- . “Menelaus of Alexandria.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 9. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 296–302.
- . “Menelaus of Alexandria.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 15. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 420f.
- Bürgel, J. Christoph. *Averroes “contra Galenum”*. Göttingen: Vandenhoeck und Ruprecht, 1967.
- Bussemaker, U. Cats. “Ueber Magnus von Emesus und dessen Buch von Harne.” *Janus* 2 (1847): 273–297.
- Bylebyl, Jerome J. “Galen on the Non-Natural Causes of Variation in the Pulse.” *Bulletin of the History of Medicine* 45 (1971): 482–485.
- Caballero-Navas, Carmen. “Medicine among Medieval Jews: The Science, the Art, and the Practice.” In *Science in Medieval Jewish Cultures*. Ed. Gad Freudenthal. Cambridge: Cambridge University Press, 2011. 320–342.
- Cahen, Cl and M. Talbi. “Hisba.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 485–89.
- Cahen, Cl. “Dhimma.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 2. Leiden: Brill, 1965. 227–231.
- . “Diyus̄k̄uridis.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 2. Leiden: Brill, 1965. 349f.
- Campbell, Donald. *Arabian Medicine and its Influence on the Middle Ages: Origins and Development of Arab Medical Science and its Subsequent Cultivation among the Arabistae of the Latin West*. 2 vols. Amsterdam: Philo Press, 1926.
- Canard, M. “Al-Anṭākī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 1. Leiden: Brill, 1960. 516.

- Carra de Vaux, B. “Al-Fārābī.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1927. 54.
- . “Bukrāt.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 1. Leiden: Brill, 1913. 784f.
- . “Ibn Rushd.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1927. 410–413.
- CDSB** = *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008.
- Celentano, Giuseppe. “Il trattato di Hunain ibn Ishāq sulla profilassi e terapia dei denti (Qaul fī ḥifẓ al-asnān wa ’stiṣlāḥihā).” *Annali dell’Istituto Universitario Orientale di Napoli* 35 (1975): 45–80.
- . “Le petit traité de Hunayn ibn Ishāq sur la prophylaxie et la thérapie des dents.” *Arabica* 21 (1974): 245–251.
- Chipman, Leigh. “Dioscorides.” *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2014-4. Leiden: Brill, 2014. 73–75.
- Cohen, Morris R. and I. E. Drabkin. *A Source Book in Greek Science*. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1948.
- Colin, Gabriel. *Avenzoar, sa vie et ses œuvres*. Paris: Ernest Leroux, 1911.
- . “Ibn Zuhr.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1927. 430f.
- D’Alverny, Marie-Thérèse and Georges Vajda. “Marc de Tolède, traducteur d’Ibn Tūmart.” *Al-Andalus* 16 (1951): 99–140, 259–307; 17 (1952) 1–56.
- Daiber, Hans. *Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection II, Institute of Oriental Culture, University of Tokyo*. Tokyo: The Documentation Center for Asian Studies, 1996.
- . “Ibn Rushd, Abū Muḥammad ‘Abdallāh.” *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2009-1. Leiden: Brill, 2009. 181f.
- . “Masā’il wa-adjwiba.” *The Encyclopaedia of Islam*. New edition. Vol. 6. Leiden: Brill, 1991. 636–639.
- . “Semitische Sprachen als Kulturvermittler zwischen Antike und Mittelalter: Stand und Aufgaben der Forschung.” *Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft* 136 (1986): 292–313.
- De Boer, T. J. “Ibn Sīnā.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1927. 419f.
- Degen, Rainer. “An Unknown Manuscript of the Book of Epidemics of Hippocrates.” *Zeitschrift für Geschichte der Arabisch-Islamischen Wissenschaften* 3 (1986): 269–279.
- . “Eine weitere Handschrift von Hunain ibn Ishāqs Schrift über die Zahnheilkunde (Qaul fī ḥifẓ al-asnān wa-l-liṭa wa-stiṣlāḥihā).” *Annali dell’Istituto Universitario Orientale di Napoli* 36 (1976): 236–243.
- . “Galen im Syrischen: Eine Übersicht über die syrische Überlieferung der Werke Galens.” In *Galen: Problems and Prospects*. Ed. Vivian Nutton. London: Wellcome Institute for the History of Medicine, 1981. 131–166.

- . “The Oldest Known Syriac Manuscript of Ḥunayn ibn Ishāq.” *Symposium Syriacum* 1976 (1978): 63–71.
- . “Wer übersetzte das 6. Buch der Epidemienkommentare Galens ins Arabische?: Zugleich ein Beitrag zur Textgeschichte der “Risāla” des Ḥunain b. Ishāq.” *Die Welt des Orients* 10 (1979): 73–92.
- . “Zur syrischen Übersetzung der Aphorismen des Hippokrates.” *Oriens Christianus* 62 (1978): 36–52.
- Der neue Pauly: Enzyklopädie der Antike.* Stuttgart: J. B. Metzler, 1996–.
- Déroche, Françoise. *Islamic Codicology: an Introduction to the Study of Manuscripts in Arabic Script.* Ed. Muhammad Isa Waley. Trans. Deke Dusinberre and David Radzinowicz. London: Al-Furqān Islamic Heritage Foundation, 2005.
- Dietrich, Albert. “Al-Masīḥī.” *The Encyclopaedia of Islam.* New Edition. Vol. 6. Leiden: Brill, 1991. 726f.
- . “Bukrāt.” *The Encyclopaedia of Islam.* Vol. 12. Leiden: Brill, 2004. 154–156.
- . “Hubaysh b. al-Ḥasan al-Dimashkī.” *The Encyclopaedia of Islam.* New Edition. Vol. 12. Leiden: Brill, 2004. 375f.
- . “Ibn Djuldjul.” *The Encyclopaedia of Islam.* New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 755f.
- . *Medicinalia Arabica: Studien über arabische medizinische Handschriften in türkischen und syrischen Bibliotheken.* Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 1966.
- Dols, Michael W. *Majnūn: the Madman in Medieval Islamic Society.* Ed. Diana E. Immisch. Oxford: Clarendon Press, 1992.
- Dörrie, Heinrich and Hermann Dörries. “Erotapokriseis.” *Reallexikon für Antike und Christentum.* Vol. 6. Stuttgart: Anton Hiersemann, 1966. 342–370.
- Dozy, R. *Supplément aux dictionnaires arabes.* Deuxième édition. 2 vols. Leiden: E.-J. Brill, 1927.  
[= Dozy]
- Duffy, John. “Byzantine Medicine in the Sixth and Seventh Centuries: Aspects of Teaching and Practice.” *Dumbarton Oaks Papers* 38 (1984): 21–27.
- Duval, Rubens. *La littérature syriaque.* Paris: Librairie Victor Lecoffre, 1907.
- Ebied, R. Y. and M. J. L. Young. “A Manuscript of Ḥunayn’s *Masā’il fī ‘ilm al-ṭibb* in the Leeds University Collections.” *Arabica* 21 (1974): 264–269.
- Ebrahimnejad, Hormoz. “Jālinus.” *Encyclopædia Iranica.* Vol. 14. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2008. 420–427.
- Ed. “Ibn Hindū.” *The Encyclopaedia of Islam.* New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 800.
- EI<sup>1</sup>** = *The Encyclopaedia of Islam.* 4 vols. Leiden: Brill, 1913–1938.
- EI<sup>2</sup>** = *The Encyclopaedia of Islam.* New Edition. 12 vols., Leiden: Brill, 1960–2004.
- EI<sup>3</sup>** = *The Encyclopaedia of Islam.* Three. Leiden: Brill, 2007–.

- EIr** = *The Encyclopaedia Iranica*. London: Routledge & Kegan Paul, 1982–.
- Elgood, Cyril. *A Medical History of Persia and the Eastern Caliphate: From the Earliest Times until the Year A.D. 1932*. Cambridge: Cambridge University Press, 1951.
- Ellis, A. C. and Edward Edwards. *A Descriptive List of the Arabic Manuscripts: Acquired by the Trustees of the British Museum since 1894*. London: British Museum, 1912.
- Endress, Gerhard. “Die Übersetzungen wissenschaftlicher und philosophischer Literatur ins Arabische.” In *Grundriß der arabischen Philologie. Band II: Literaturwissenschaft*. Ed. Helmut Gätje. Wiesbaden: Reichert, 1987. 416–431.
- . “Medizin.” In *Grundriß der arabischen Philologie. Band III: Supplement*. Ed. Wolfdietrich Fischer. Wiesbaden: Reichert, 1992. 116–138.
- . “Sa‘īd b. Ya‘kūb al-Dimashkī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 8. Leiden: Brill, 1995. 858f.
- Entralgo, Pedro Laín. “Actualidad de Galeno: Nota sobre las «sex res non naturales».” In *Galen: obra, pensamiento e influencia (Coloquio internacional celebrado en Madrid, 22–25 de Marzo de 1988)*. Ed. J. A. López-Férez. Madrid: Universidad National, 1991. 11–14.
- Evans, James. *The History and Practice of Ancient Astronomy*. New York: Oxford University Press, 1998.
- Fancy, Nahyan. *Science and Religion in Mamluk Egypt: Ibn al-Nafīs, Pulmonary Transit and Bodily Resurrection*. New York: Routledge, 2013.
- Fischer, Klaus-Dietrich. “Verbesserungen zur Isagoge des Johannicetus.” *Sudhoffs Archiv* 67 (1983): 223f.
- Fleming, Donald. “Galen on the Motions of the Blood in the Heart and Lungs.” *Isis* 46 (1955): 14–21.
- French, Roger. *Medicine before Science: The Business of Medicine from the Middle Ages to the Enlightenment*. Cambridge: Cambridge University Press, 2003.
- Friedmann, Yohanan. “Dhimma.” *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2012-3. Leiden: Brill, 2012. 87–92.
- Fück, J. W. “Ibn al-Nadīm.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 895f.
- Gabrieli, G. “Hunayn ibn Ishāq.” *Isis* 6 (1924): 282–92.
- . “Nota biobibliografica su Qusṭā ibn Lūqā.” *Rendiconti della Reale Accademia dei Lincei. Classe di scienze morali, storiche e filologiche Serie V*, 21 (1912): 341–382.
- García-Ballester, Luis. “On the Origin of the “Six Non-Natural Things” in Galen.” In *Galen und das hellenistische Erbe*, Sudhoffs Archiv Beihefte: Heft 32. Ed. Jutta Kollesh and Nickel Diethard. Stuttgart: Steiner, 1993. 105–115.
- Garofalo, Ivan. “Aspetti della trasmissione del sapere anatomico greco nel mondo islamico.” In *La civiltà islamica e le scienze: atti del simposio internazionale, Firenze—Palazzo*

- Panciatichi, 23 novembre 1991.* Ed. Clelia Sarnelli Cerqua, Ornella Marra and Pier Giovanni Pelfer. Napoli: CUEN, 1995. 63–70.
- . “Il *sunto* di Ioannes ‘Grammatikos’ delle opere del canone di Galeno.” In *Studi su Galeno: scienza, filosofia, retorica e filologia*. Ed. Daniela Manetti. Firenze: Università degli studi di Firenze, 2000. 135–151.
- . “La traduzione araba dei compendi alessandrini delle opere del canone di Galeno. Il compendio dell’*Ad Glauconem*.” *Medicina nei Secoli* 6 (1994): 329–348.
- . “La traduzione araba del *De Locis affectis* di Galeno.” *Studi classici e orientali* 45 (1995): 13–63.
- . “La tradition de l’anatomie «pour étudiants» de Galien.” In *Storia e ecdotica dei testi medici greci: Atti del II Convegno Internazionale Parigi 24–26 maggio 1994*. Ed. Antonio Garzya and Jacques Jouanna. Napoli: M. D’Auria, 1996. 155–179.
- Gätje, Helmut. Review of *Medicinalia Arabica*, by Albert Dietrich. *Göttingische gelehrte Anzeigen* 221 (1969): 92–103.
- Ghalioungui, P. “Was Ibn al-Nafis unknown to the Scholars of the European Renaissance?” *Clio Medica* 18 (1983): 37–42.
- Gignoux, Philippe. “Syriac Language: iii. Syriac Translators as the Medium for Transmission of Greek Ideas to Sasanian Iran.” *Encyclopædia Iranica, online edition*. <http://www.iranicaonline.org/articles/syriac-language-03-translators-greek-ideas> (2016年2月20日閱覽)
- Gippert, Jost. *Index Galenicus: Wortformenindex zu den Schriften Galens*. 2 vols. Dettelbach: J. H. Röll, 1997.
- Goichon, A.-M. “Ibn Sīnā.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 941–947.
- . *Lexique de la langue philosophique d’Ibn Sīnā*. Paris: Desclée de Brouwer, 1938. (Reprint, Frankfurt am Main: Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, 1999.)
- Goodman, L. E. “Al-Rāzī.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 8. Leiden Brill, 1995. 474–477.
- Gracia Guillén, Diego and A. J. Álvarez Vizcaíno. “El galenismo medieval a través de la «Isagoge Iohannitii».” In *Galen: obra, pensamiento e influencia (Coloquio internacional celebrado en Madrid, 22–25 de Marzo de 1988)*. Ed. J. A. López-Férez. Madrid: Universitat National, 1991. 253–272.
- Graf, Georg. *Geschichte der christlichen arabischen Literatur*. 5 vols. Città del Vaticano: Biblioteca Apostolica Vaticana, 1947.
- Gundert, Beate. “Die *Tabulae Vindobonenses* als Zeugnis alexandrinischer Lehrtätigkeit um 600 n. Chr.” In *Text and Tradition: Studies in Ancient Medicine and its Transmission*.

- Presented to Jutta Kollesch.* Ed. Klaus-Dietrich Fischer, Diethard Nickel and Paul Potter. Leiden: Brill, 1998. 91–144.
- Gutas, Dimitri. “Aspects of Literary Form and Genre in Arabic Logical Works.” In *Glosses and Commentaries on Aristotelian Logical Texts: The Syriac, Arabic and Medieval Latin Traditions*. Ed. Charles Burnett. London: Warburg Institute, 1993. 29–76.
- . *Avicenna and the Aristotelian Tradition: Introduction to Reading Avicenna’s Philosophical Works*. Second, revised and enlarged edition. Leiden: Brill, 2014.
- . *Greek Thought, Arabic Culture: the Graeco-Arabic Translation Movement in Baghdad and Early ‘Abbāsid Society (2nd–4th/8th–10th centuries)*. London: Routledge, 1998.
- Gutas, Dimitri and Kevin van Bladel. “Bayt al-hikma.” *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2009-2. Leiden: Brill, 2009. 133–137.
- Hall, A. Rupert. “Studies on the History of the Cardiovascular System.” *Bulletin of the History of Medicine* 34 (1960): 391–413.
- Hamarneh, Sami K. “Al-Majūsī, Abu’l-Hasan ‘Alī ibn ‘Abbās.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 9. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 40–42.
- Hamarneh, Sami K. “Arabic Manuscripts of the National Library of Medicine, Washington, D.C.” *Journal for the History of Arabic Science* 1 (1977): 72–108.
- . “Ibn Zuhr, Abū Marwān ‘Abd al-Malik ibn Abi’l-‘Alā’.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 14. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 637–639.
- . *Index of Arabic Manuscripts on Medicine and Pharmacy at the National Library of Cairo*. Cairo: Dâr al-Mâhâsin Press, 1967.
- . *Index of Manuscripts on Medicine, Pharmacy, and Allied Sciences in the Zâhirîyah Library*. Damascus: Al-Taraqqî Press, 1968.
- . “Islamic Medicine and its Impact on Teaching and Practice of the Healing Arts in the West.” In *Health Sciences in Early Islam: Collected Papers*. Ed. Munawar A. Anees. Vol. 1. Blanco: Zahra Publications, 1983. 169–190.
- . “Medical Education and Practice in Islam.” In *Health Sciences in Early Islam: Collected Papers*. Ed. Munawar A. Anees. Vol. 1. Blanco: Zahra Publications, 1983. 127–153.
- . “Medical Sciences under the Fatimiyyah Dynasty.” In *Health Sciences in Early Islam: Collected Papers*. Ed. Munawar A. Anees. Vol. 1. Blanco: Zahra Publications, 1983. 61–93.
- . “Origin and Functions of the Hisbah System in Islam and its Impact on the Health Professions.” *Sudhoffs Archiv* 48 (1964): 157–173.
- Hankinson, R. J. “Epistemology.” Hankinson, R. J. *The Cambridge Companion to Galen*. Cambridge: Cambridge University Press, 2008. 157–183.
- . “Galen.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 3. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 91–96.

- Hanson, Ann Ellis and Monica H. Green. "Soranus of Ephesus: Methodicorum princeps." *Aufstieg und Niedergang der römischen Welt. Teil II: Principat.* Vol. 37.2. Berlin: Walter de Gruyter, 1994. 968–1075.
- Harvey, E. Ruth. "Qustā ibn Lūqā al-Ba'labakī." *Complete Dictionary of Scientific Biography.* Vol. 11. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 244–246.
- Hau, Friedrun R. "Die Bildung des Arztes im islamischen Mittelalter." *Clio Medica* 13 (1978): 95–124, 175–200; 14 (1979) 7–33.
- Hill, D. "Kustā b. Lūkā." *The Encyclopaedia of Islam.* Vol. 5. Leiden: Brill, 1986. 529f.
- Hinz, Walther. *Islamische Masse und Gewichte: Umgerechnet ins Metrische System.* Leiden: E. J. Brill, 1995.
- Hirschberg, J. "Über das älteste arabische Lehrbuch der Augenheilkunde." *Sitzungsberichte der Königlich Preussischen Akademie der Wissenschaften, Phil.-hist. Kl.* 1903 (1903): 1080–1094.
- Hitti, Philip K. *History of the Arabs: from the earliest times to the present.* 5th ed. London: Macmillan, 1951.
- Hitti, Philip K., Nabih Amin Faris and Buṭrus 'Abd-al-Malik. *Descriptive Catalog of the Garrett Collection of Arabic Manuscripts in the Princeton University Library.* Princeton: Princeton University Press, 1938.
- Hugonnard-Roche, Henri. "Aux origines de l'exégèse orientale de la logique d'Aristote: Sergius de Reš'aina (†536), médecin et philosophe." *Journal asiatique* 277 (1989): 1–17.
- . *La logique d'Aristote du grec au syriaque: Études sur la transmission des textes de l'Organon et leur interprétation philosophique.* Paris: J. Vrin, 2004.
- . "Note sur Sergius de Reš'ainā, traducteur du grec en syriaque et commentateur d'Aristote." In *The Ancient Tradition in Christian and Islamic Hellenism.* Ed. Gerhard Endress and Remke Kruk. Leiden: Research School CNWS, 1997. 121–143.
- . "Porphyre de Tyr: III. Survie orientale." *Dictionnaire des philosophes antiques.* Vol. 5b. Paris: CNRS Editions, 2012. 1447–1468.
- Irigoin, M. Jean. "Tradition et critique des textes grecs." *Annuaire du Collège de France* 89 (1988/89): 585–605.
- Irvine, Judith T. and Owsei Temkin. "Who was Akīlāōs? A Problem in Medical Historiography." *Bulletin of the History of Medicine* (2003): 12–24.
- Iskandar, A. Z. "An Attempted Reconstruction of the Late Alexandrian Medical Curriculum." *Medical History* 20 (1976): 235–258.
- . "Hunayn ibn Ishāq: Hunayn the Translator, Ḥunayn the Physician." *Complete Dictionary of Scientific Biography.* Vol. 15. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 234–249.
- . "Ibn al-Nafīs." *Complete Dictionary of Scientific Biography.* Vol. 9. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 602–606.

- . “Ibn Rushd, Abū'l-Walīd Muḥammad ibn Aḥmad ibn Muḥammad.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 12. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 1–9.
- . “Ibn Sīnā: Medicine.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 6. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 498–501.
- Issa, Ahmed. *Dictionnaire des noms des plantes en latin, français, anglais et arabe*. Beirut: Dār al-Rā’id al-‘Arabī, 1981.
- Jacquart, Danielle. “À l’aube de la renaissance médicale des XI<sup>e</sup>–XII<sup>e</sup> siècles: l’«Isagoge Iohannitii» et son traducteur.” *Bibliothèque de l’École des chartes* 144 (1986): 209–240.
- . “Constantinus Africanus.” *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2011-2. Leiden: Brill, 2011. 131–133.
- . *La médecine médiévale dans le cadre parisien, XIV<sup>e</sup>–XV<sup>e</sup> siècle*. [Paris]: Fayard, 1998.
- . “The Influence of Arabic Medicine in the Medieval West.” In *Encyclopedia of the History of Arabic Science*. Ed. Roshdi Rashed. Vol. 3. London: Routledge, 1996. 963–984.
- Jacquart, Danielle and Françoise Micheau. *La médecine arabe et l’Occident médiéval*. Paris: Maisonneuve et Larose, 1990.
- Jacquart, Danielle and Nicoletta Palmieri. “La tradition alexandrine des *Masā’il fī t-ṭibb* de Ḥunain ibn Ishāq.” In *Storia e ecdotica dei testi medici greci: Atti del II Convegno Internazionale Parigi 24–26 maggio 1994*. Ed. Antonio Garzya and Jacques Jouanna. Napoli: M. D’Auria, 1996. 217–236.
- Jacques, Jean-Marie. “A propos de l’édition des fragments des médecins grecs transmis par les œuvres pharmacologiques de Galien.” In *Storia e ecdotica dei testi medici greci: Atti del II Convegno Internazionale Parigi 24–26 maggio 1994*. Ed. Antonio Garzya and Jacques Jouanna. Napoli: M. D’Auria, 1996. 237–251.
- Jarcho, Saul. “Galen’s Six Non-Naturals: A Bibliographic Note and Translation.” *Bulletin of the History of Medicine* 44 (1970): 372–377.
- Johnstone, Penelope. “Galen in Arabic: the Transformation of Galenic Pharmacology.” In *Galen: Problems and Prospects*. Ed. Vivian Nutton. London: Wellcome Institute for the History of Medicine, 1981. 197–212.
- Joly, Robert. “Hippocrates of Cos.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 6. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 418–431.
- Jones, Alexander. “Ptolemy.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 24. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 173–178.
- Jordan, Mark D. “Medicine as Science in the Early Commentaries on ‘Johannitius’.” *Traditio* 43 (1984): 121–145.

- . “The Construction of Philosophical Medicine: Exegesis and Argument in Salernitan Teaching on the Soul.” In *Renaissance Medical Learning: Evolution of a Tradition*. Ed. Michael R. McVaugh and Nancy G. Siraisi. Philadelphia, PA: History of Science Society, 1990. 42–61.
- Jouanna, Jacques. “Remarques sur la tradition arabe du commentaire de Galien aux traités hippocratiques des Airs, eaux, lieux et du Sement.” In *Galen: obra, pensamiento e influencia (Coloquio internacional celebrado en Madrid, 22–25 de Marzo de 1988)*. Ed. J. A. López-Férez. Madrid: Universidad National, 1991. 235–251.
- Kahħāla, ‘Umar Riḍā. *Mu’jam al-mu’allifin: tarājim muṣannifīt al-kutub al-‘arabīya*. 15 vols. Beirut: Dār Ihyā’ al-Turāth al-‘Arabī, 1957. [= Kahħāla]
- Käs, Fabian. “Eine neue Handschrift von Hunain ibn Ishāq’s Galenbibliographie.” *Zeitschrift für Geschichte der Arabisch-Islamischen Wissenschaften* 19 (2011): 135–193.
- Kazimirski, A. de Biberstein. *Dictionnaire arabe-français*. 2 vols. Paris: Maisonneuve, 1860. (Reprint, Beirut: Albouraq, 2004.) [= Kazimirski]
- Kessel, Grigory. Review of *Hunayn ibn Ishaq’s “Questions on Medicine for Students”*, by E. J. Wilson & S. Dinkha. *Hugoye: Journal of Syriac Studies* 15 (2012): 375–400.
- Khouri, Nabil el-. “Auswirkungen der Schule von Nisibis.” *Oriens Christianus* 59 (1975): 121–129.
- King, Helen. “Hippocrates of Cos.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 3. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 322–326.
- Klamroth, M. “Ueber die Auszüge aus griechischen Schriftstellern bei al-Ja‘qubī.” *Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft* 40 (1886): 189–233, 612–638; 41 (1887): 415–442; 42 (1888): 1–44, 692.
- Klein-Franke, Felix. *Vorlesungen über die Medizin im Islam*. Wiesbaden: Franz Steiner, 1982.
- Kollesch, Jutta. “René Chartier: Herausgeber und Fälscher der Werke Galens.” *Klio* 48 (1967): 183–198.
- . *Untersuchungen zu den pseudogalenischen Definitiones medicae*. Berlin: Akademie-Verlag, 1973.
- . “Zur Geschichte des medizinischen Lehrbuchs in der Antike.” In *Aktuelle Probleme aus der Geschichte der Medizin: Verhandlungen des XIX, Internationalen Kongresses für Geschichte der Medizin, Basel, 7.–11. September 1964*. Ed. R. Blaser and H. Buess. Basel: Karger, 1966. 203–208.
- Kraus, P. and S. Pines. “Al-Rāzī.” *The Encyclopedia of Islam*. Vol. 3. Leiden: Brill, 1936. 1134–1136.
- Kristeller, Paul Oskar. “Bartholomaeus, Musandinus and Maurus of Salerno and Other Early Commentators of the «Articella», with a Tentative List of Texts and Manuscripts.” *Italia medioevale e umanistica* 19 (1976): 57–87.

- . “The School of Salerno: Its Development and its Contribution to the History of Learning.” *Bulletin of the History of Medicine* 17 (1945): 138–194.
- Kudlien, Fridolf. “Galen.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 5. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 227–233.
- . “Oribasius.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 10. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 230f.
- Lane, Edward William. *An Arabic-English Lexicon*. 8 parts. London: Williams and Norgate, 1863–93. (Reprint, 2 vols., Cambridge: Islamic Texts Society, 1984.) [= Lane]
- Langermann, Y. Tzvi. “Critical Notes on a Study of Galen’s *On Critical Days* in Arabic or A Study in Need of Critical Repairs.” *Aestimatio* 9 (2012): 217–237.
- Le Coz, Raymond. *Les chrétiens dans la médecine arabe*. Paris: L’Harmattan, 2006.
- . *Les médecins nestoriens au moyen âge: les maîtres de Arabes*. Paris: L’Harmattan, 2004.
- Leclerc, Lucien. *Histoire de la médecine arabe*. 2 vols. Paris: Ernest Ledoux, 1876.
- Leiser, Gary. “Medical Education in Islamic Lands from the Seventh to the Fourteenth Century.” *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* 38 (1983): 48–75.
- Lieber, Elinor. “Galen in Hebrew: the transmission of Galen’s works in the medieval Islamic world.” In *Galen: Problems and Prospects*. Ed. Vivian Nutton. London: Wellcome Institute for the History of Medicine, 1981. 167–186.
- Lindberg, David C. *Theories of Vision from al-Kindī to Kepler*. Chicago: University of Chicago Press, 1976.
- Longrigg, James. “Erasistratus.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 4. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 382–386.
- . “Herophilus.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 6. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 316–319.
- Liddell, Henry George and Robert Scott. *A Greek-English Lexicon*. Revised and augmented throughout by Henry Stuart Jones, 9th edition with a revised supplement. Oxford: Clarendon Press, 1996. [= LSJ]
- Lyons, M. C. “The *Kitāb al-Nāfi‘* of ‘Alī ibn Rīḍwān.” *Islamic Quarterly* 6 (1961): 65–71.
- Madkour, I. “Les traducteurs chrétiens et la science arabe.” In *Recherches d’islamologie*. Ed. Georges C. Anawati and Louis Gardet. Louvain: Peeters, 1977. 201–205.
- Makdisi, George. “The Scholastic Method in Medieval Education: An Inquiry into its Origins in Law and Theology.” *Speculum* 49 (1974): 640–661.
- Martini, Umberto de. “Considerazioni sulla dottrina dello pneuma in Galeno.” *Pagine di Storia della Medicina* 8 (1964): 41–47.
- Massé, H. “Nizāmī ‘Arūdī Samarqandī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 8. Leiden: Brill, 1995. 76.

- McVaugh, Michael. "Constantine the African." *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 3. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 393–395.
- Merkle, Karl. "Die Sittensprüche der Philosophen 'Kitāb Ḵadāb al-falāsifa' von Ḥonein ibn Ishāq in der Überarbeitung des Muḥammad ibn 'Alī al-Anṣārī." Ph.D. diss., Ludwig-Maximilians-Universität in München, 1921.
- Meyerhof, Max. "Ibn an-Nafīs and his Theory of the Lesser Circulation." *Isis* 23 (1935): 100–120.
- . "Ibn an-Nafīs und seine Theorie des Lungenkreislaufs." *Quellen und Studien zur Geschichte der Naturwissenschaften und der Medizin* 4 (1935): 37–88.
- . "Joannes Grammatikos (Philoponos) von Alexandrien und die arabische Medizin." *Mitteilungen des Deutschen Instituts für ägyptische Altertumskunde in Kairo* 2 (1932): 1–21.
- . "La surveillance des professions médicales et para-médicales chez les arabes." *Bulletin de l'Institut d'Egypte* 26 (1943/44): 119–134.
- . "Les versions syriaques et arabes des écrits galéniques." *Byzantion* 3 (1926): 35–51.
- . "New Light on Ḥunain ibn Ishāq and His Period." *Isis* 8 (1926): 685–724.
- . "Science and Medicine." In *The Legacy of Islam*. Ed. Thomas Arnold and Alfred Guillaume. London: Oxford University Press, 1931. 311–355.
- . "Sultan Saladin's Physician on the Transmission of Greek Medicine to the Arabs." *Bulletin of the History of Medicine* 18 (1945): 169–178.
- . "Über echte und unechte Schriften Galens, nach arabischen Quellen." *Sitzungsberichte der Preussischen Akademie der Wissenschaften, Phil.-hist. Kl.* 1928 (1928): 533–548.
- . "Von Alexandrien nach Bagdad: Ein Beitrag zur Geschichte der philosophischen und medizinischen Unterrichts bei den Arabern." *Sitzungsberichte der Preussischen Akademie der Wissenschaften, Phil.-hist. Kl.* 1930 (1930): 389–429.
- Meyerhof, Max and Joseph Schacht. "Ibn al-Nafīs." *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 897f.
- . *The Theologus Autodidactus of Ibn al-Nafīs*. Oxford: Clarendon Press, 1968.
- Micheau, Françoise. "'Alī b. al-'Abbās al-Majūsī.' *The Encyclopaedia of Islam*. Three. Vol. 2009-2. Leiden: Brill, 2009. 76f.
- . "Les traités médicaux de Barhebraeus." *Parole de l'Orient* 33 (2008): 159–175.
- . "Mécènes et médecins à Bagdad au III<sup>e</sup>/IX<sup>e</sup> siècle: Les commanditaires des traductions de Galien par Ḥunayn ibn Ishāq." In *Les voies de la science grecque: Étude sur la transmission des textes de l'Antiquité au dis-neuvième siècle*. Ed. Danielle Jacquot. Paris: Droz, 1997. 147–179.
- Michler, Markwart. "Soranus of Ephesus." *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 12. Detroit: Charles Scribner's Sons, 2008. 538–542.

- Milano, Attilio. “Faraj ben Solomon da Agrigento.” *Encyclopaedia Judaica*. Vol. 6. Jerusalem: Encyclopaedia Judaica, 1972. 1179.
- Musallam, B. “Avicenna: x. Biology and medicine.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 3. London: Routledge & Kegan Paul, 1989. 94–99.
- Neuburger, Max. *Geschichte der Medizin*. Vol. 2. Stuttgart: Ferdinand Enke, 1911.
- Newton, Francis. “Constantine the African and Monte Cassino: New Elements and the Text of the Isagoge.” In *Texts, Constantine the African and ‘Alī ibn al-‘Abbās al-Maġūsī: the Pantegni and Related*. Ed. Charles Burnett and Danielle Jacquot. Leiden: Brill, 1994. 16–47.
- Niebly, Peter H. “The Non-Naturals.” *Bulletin of the History of Medicine* 45 (1971): 486–492.
- Nutton, Vivian. *Ancient Medicine*. London: Routledge, 2004.
- . “Galen *ad multos annos*.” *Dynamis* 15 (1995): 25–39.
- . “Galen in the Eyes of his Contemporaries.” *Bulletin of the History of Medicine* 58 (1984): 315–324.
- . “John of Alexandria Again: Greek Medical Philosophy in Latin Translation.” *Classical Quarterly* 41 (1991): 509–519.
- . “The Fortunes of Galen.” In *The Cambridge Companion to Galen*. Ed. R. J. Hankinson. Cambridge: Cambridge University Press, 2008. 355–390.
- O’Malley, C. D. “Nemesius.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 10. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 20f.
- Overwien, Oliver. “The Art of the Translator, or: How did Hunayn ibn ’Ishāq and his School Translate?” In *Epidemics in Context: Greek Commentaries on Hippocrates in the Arabic Tradition*. Ed. Peter E. Pormann. Berlin: De Gruyter, 2012. 151–169.
- Palmieri, Nicoletta. “La théorie de la médecine des Alexandrins aux Arabes.” In *Les voies de la science grecque: Étude sur la transmission des textes de l’Antiquité au dis-neuvième siècle*. Ed. Danielle Jacquot. Paris: Droz, 1997. 33–133.
- . “Tempéraments du corps et caractères de l’âme dans le commentaire à l’Ars medica d’Agnellus de Ravenne.” In *L’Ars Medica (Tegni) de Galien: lectures antiques et médiévales: Actes de la «Journée d’étude internationale» (Saint-Étienne, 26 juin 2006)*. Ed. Nicoletta Palmieri. Saint-Étienne: Publication de l’Université de Saint-Étienne, 2008. 31–66.
- Papadoyannakis, Yannis. “Instruction by Question and Answer: The Case of Late Antique and Byzantine *Erotapokriseis*.” In *Greek literature in late antiquity: dynamism, didacticism, classicism*. Ed. Scott Fitzgerald Johnson. Aldershot: Ashgate, 2006. 91–105.
- Payne Smith, J. A *Compendious Syriac Dictionary*. Oxford: Clarendon Press, 1903. [= Payne Smith, *Dictionary*]

- Payne Smith, R. *Thesaurus Syriacus*. 2 vols. Oxonii: E Typographeo Clarendoniano, 1879. [= **Payne Smith, Thesaurus**]
- Pertsch, Wilhelm. *Die arabischen Handschriften der Herzoglichen Bibliothek zu Gotha*. Vol. 3. Gotha: Friedr[ich] Andr[eas] Perthes, 1881.
- Peters, F. E. *Aristoteles Arabus: The Oriental Translations and Commentaries on the Aristotelian Corpus*. Leiden: Brill, 1968.
- Peterson, Donald W. “Galen’s ‘Therapeutics to Glaucon’ and its Early Commentaries.” Ph.D. diss. Johns Hopkins University, 1974.
- Pines, Shlomo. “Al-Rāzī, Abū Bakr Muḥammad ibn Zakariyyā.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 11. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 323–326.
- Pingree, David. “Banū Munağğem.” *The Encyclopædia Iranica*. Vol. 3. London: Routledge & Kegan Paul, 1989. 716.
- . “Isā b. Yahyā Masihi Jorjāni.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 13. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2006. 609f.
- Plessner, M. “Al-Fārābī’s Introduction to the Study of Medicine.” In *Islamic Philosophy and the Classical Tradition: essays presented by his friends and pupils to Richard Walzer*. Ed. S. M. Stern, Albert Hourani and Vivian Brown. Oxford: Cassierer, 1972. 307–314.
- . “Baṭlamiyūs.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 1. Leiden: Brill, 1960. 1100–1102.
- Pormann, Peter E. “Case Notes and Clinicians: Galen’s *Commentary on the Hippocratic Epidemics* in the Arabic Tradition.” *Arabic Sciences and Philosophy* 18 (2008): 247–284.
- . “Islamic Medicine Crosspollinated: A Multilingual and Multiconfessional Maze.” In *Islamic Crosspollinations: Interactions in the Medieval Middle East*. Ed. Anna Akasoy, E. Montgomery James and Peter E. Pormann. Cambridge: Gibb Memorial Trust, 2007. 76–93.
- . Review of *Galen, De Diebus Decretoriis, From Greek into Arabic*, by Glen M. Cooper. *Journal of Islamic Studies* 24 (2012): 71–74.
- . “The *Alexandrian Summary (Jawāmi')* of Galen’s *on the Sects for Beginners*: Commentary or Abridgment?” In *Philosophy, Science and Exegesis in Greek, Arabic and Latin Commentaries*. Ed. Peter Adamson, Han Baltussen and M. W. F. Stone. Vol. 2. London: Institute of Classical Studies, 2004. 11–33.
- Pormann, Peter E. and E. Savage-Smith. *Medieval Islamic medicine*. Edinburgh: Edinburgh University Press, 2007.
- Praechter, Karl. “Die griechischen Aristoteleskommentare.” *Byzantinische Zeitschrift* 18 (1909) 18 (1909): 516–538.

- Proverbio, Delio Vania. “Sul piú antico codice delle *Masā’ il fī’t-tibb lil-muta ‘allimīn* di Ḥunayn Ibn Ishāq (*Isagoge Iohannitii*).” *Rendiconti della Accademia nazionale dei Lincei. Classe di scienze morali, storiche e filologiche Serie IX*, 10 (1999): 57–92.
- Rather, L. J. “The “Six Non-Natural”: A Note on the Origins and Fate of a Doctrine and a Phrase.” *Clio Medica* 3 (1968): 337–347.
- Richard, Marcel. “Ἄπο Φωνῆς.” *Byzantion* 20 (1950): 191–222.
- Richter-Bernburg, Lutz. “‘Alī b. ‘Abbās Majūsī.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 1. London: Routledge & Kegan Paul, 1985. 837f.
- . “Bokṭīšū’.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 4. London: Routledge & Kegan Paul, 1990. 333–336.
- . “Gondēshāpur: ii. History and medical school.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 11. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2003. 133–135.
- . “Hāwi, al-.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 12. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2004. 64–67.
- . “Hippocrates.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 12. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2004. 317–322.
- Riddle, John M. “Dioscorides.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 4. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 119–123.
- Ritter, Helmut and Richard Walzer. “Arabische Übersetzungen griechischer Ärzte in Stambuler Bibliotheken.” *Sitzungsberichte der Preussischen Akademie der Wissenschaften, philhist. Kl.* (1934): 801–846.
- Rocca, Julius. “From Doubt to Certainty. Aspects of the Conceptualisation and Interpretation of Galen’s Natural Pneuma.” In *Blood, Sweat and Tears—The Changing Concepts of Physiology from Antiquity into Early Modern Europe*. Ed. Manfred Horstmanshoff, Helen King and Claus Zittel. Leiden: Brill, 2012. 629–659.
- . “Galen and the Ventricular System.” *Journal of the History of the Neurosciences* 6 (1997): 227–239.
- . *Galen on the Brain: Anatomical Knowledge and Physiological Speculation in the Second Century AD*. Leiden: Brill, 2003.
- Roggema, B. “Iyob of Edessa.” *Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011. 225f.
- Rosenthal, Franz. “An Ancient Commentary on the Hippocratic Oath.” *Bulletin of the History of Medicine* 30 (1956): 52–87.
- . “An Eleventh-Century List of the Works of Hippocrates.” *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* 28 (1973): 156–165.
- . “Die arabischen Autobiographie.” *Analecta Orientalia* 14 (1937): 1–40.

- . *The Classical Heritage in Islam*. Trans. Emile Marmorstein and Jenny Marmorstein. Berkeley: University of California Press, 1975.
- Roueché, Mossman. “Did Medical Students Study Philosophy in Alexandria?” *Bulletin of the Institute of Classical Studies* 43 (1999): 153–169.
- Ruska, J. “Hunain b. Ishāq.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1927. 336.
- Russell, Güл. “Greece: x. Greek medicine in Persia.” *Encyclopædia Iranica*. Vol. 11. New York: Encyclopædia Iranica Foundation, 2003. 342–357.
- Sa‘di, Lufti M. “A Bio-bibliographical Study of Hunayn ibn Is-haq al-Ibadi (Johannitius) (809–877 A.D.).” *Bulletin of the Institute of the History of Medicine* 1934 (1934): 409–446.
- Salama-Carr, Myriam. *La traduction à l'époque Abbaside*. Paris: Didier érudition, 1990.
- Sarton, George. *Introduction to the History of Science*. 3 vols. Baltimore: Williams & Wilkins, 1927–48.
- Savage-Smith, Emilie. “Attitude toward Dissection in Medieval Islam.” *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* 50 (1995): 67–110.
- . “Al-Zahrāwī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 11. Leiden: Brill, 2002. 398f.
- . “Galen’s Lost Ophthalmology and the *Summaria Alexandrinorum*.” In *The Unknown Galen*. Ed. Vivian Nutton. London: Institute of Classical Studies, 2002. 121–138.
- . “Medicine.” In *Encyclopedia of the History of Arabic Scienc*. Ed. Roshdi Rashed. Vol. 3. London: Routledge, 1996. 903–962.
- Sbath, Paul. “Le livre des questions sur l’œil de Hunain ben Ishaq: médecin et grand savant chrétien du IX<sup>e</sup> siècle (809–877).” *Bulletin de l’Institut d’Égypte* (1934–35): 129–138.
- Schacht, J. “Ibn Buṭān.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 740–742.
- . “Ibn Ridwān.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 906f.
- Schacht, Joseph. “Ibn al-Nafīs, Servetus and Colombo.” *Al-Andalus* 22 (1957): 317–336.
- Schipperges, Heinrich. *Die Assimilation der arabischen Medizin durch das lateinische Mittelalter*. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag, 1964.
- . “Die frühen Übersetzer der arabischen Medizin in chronologischer Sicht.” *Sudhoffs Archiv für Geschichte der Medizin und der Naturwissenschaften* 39 (1955): 53–93.
- Schöner, Erich. *Das Viererschema in der antiken Humoralpathologie*. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag, 1964.
- Schullian, Dorothy M. and Francis E. Sommer. *A Catalogue of Incunabula and Manuscripts in the Army Medical Library*. New York: Henry Schuman, [1948?].
- Segal, J. B. “Ibn ‘Ibrī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 804f.

- Sezgin, Fuat. *Geschichte des arabischen Schrifttums. Band III: Medizin-Pharmazie-Zoologie-Tierheilkunde bis ca. 430 H.* Leiden: Brill, 1970. [= **GAS III**]
- . *Geschichte des arabischen Schrifttums. Band IV: Alchimie, Chemie, Botanik, Agrikultur bis ca. 430 H.* Leiden: Brill, 1971. [= **GAS IV**]
- . *Geschichte der arabischen Schrifttums. Band V: Mathematik bis ca. 430 H.* Leiden: Brill, 1974. [= **GAS V**]
- . *Geschichte der arabischen Schrifttums. Band VI: Astronomie bis ca. 430 H.* Leiden: Brill, 1978. [= **GAS VI**]
- Shehaby, Nabil. “Ishāq ibn Hunayn.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 7. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 24–26.
- Siraishi, Nancy G. *Medieval & Early Renaissance Medicine: An Introduction to Knowledge and Practice*. Chicago: University of Chicago Press, 1990.
- Smyth, Herbert Weir. *A Greek Grammar for Colleges*. New York: American Book, 1920.
- Solmsen, Friedrich. “Nature as Craftsman in Greek Thought.” *Journal of the History of Ideas* (1963): 473–496.
- Sourdel, D. “Bayt al-hikma.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 1. Leiden: Brill, 1960. 1141.
- Steingass, F. *A Comprehensive Persian-English Dictionary*. London: Routledge & Kegan Paul Limited, 1892. (Reprint, New Delhi: Asian Educational Services, 2005.)
- Steinschneider, Moritz. *Die europäischen Übersetzungen aus dem arabischen*. Graz: Akademie Druck- und Verlagsanstalt, 1956.
- . *Die hebraischen Uebersetzungen des Mittelalters und die Juden als Dolmetscher*. Berlin: Bibliographischer Bureau, 1893.
- Stern, S. M. “Isaac Israeli.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 7. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 22f.
- Stern, Sacha. *Calendars in Antiquity: Empires, States, and Societies*. Oxford: Oxford University Press, 2012.
- Strohmaier, Gotthard. “Arabisch als Sprache der Wissenschaft in den frühen medizinischen Übersetzungen.” *Mitteilungen des Instituts für Orientforschung* 15 (1979): 77–85.
- . “Asklepios und das Ei: Zur Ikonographie in einem arabisch erhaltenen Kommentar zum hippokratischen Eid.” In *Beiträge zur Alten Geschichte und deren Nachleben: Festschrift für Franz Altheim zum 6. 10. 1968*. Ed. Ruth Stiehl and Hans Erich Stier. Vol. 2. Berlin: Walter de Gruyter, 1970. 143–153.
- . “Der arabische Hippokrates: Bemerkungen zu einem Aufsatz von Dieter Irmer.” *Sudhoffs Archiv* 64 (1980): 234–249.
- . “Der syrische und der arabische Galen.” *Aufstieg und Niedergang der römischen Welt. Teil II: Principat*. Vol. 37.2. Berlin: Walter de Gruyter, 1994. 1987–2017.

- . “Die christlichen Schulen in Bagdad und der Alexanrinische Kanon der Galenschriften: Eine Korrektur in Ḥunains Sendschreiben an ‘Alī ibn Yahyā.’” *Oriens* 36 (2001): 268–275.
- . “Galen in Arabic: problems and prospects.” In *Galen: Problems and Prospects*. Ed. Vivian Nutton. London: Wellcome Institute for the History of Medicine, 1981. 187–196.
- . “Homer in Bagdad.” *Byzantinoslavica* 41 (1980): 196–200.
- . “Ḥunain ibn Ishāq und die Bilder.” *Klio* 43 (1965): 523–533.
- . “Ḥunayn b. Ishāq al-‘Ibādī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 578–581.
- . “Ḥunayn ibn Ishāq et le serment Hippocratique.” *Arabica* 21 (1974): 318–323.
- . “Ishāq b. Hunayn.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 4. Leiden: Brill, 1978. 110.
- . “Reception and Tradition: Medicine in the Byzantine and Arab World.” In *Western Medical Thought from Antiquity to the Middle Ages*. Ed. Mirko D Grmek. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1998. 139–169.
- Sudhoff, Karl. “Medizinischer Unterricht und seine Lehrbehelfe im frühen Mittelalter.” *Sudhoffs Archiv für Geschichte der Medizin* 21 (1929): 28–37.
- . “Salerno, Montpellier und Paris um 1200: ein Handschriftfund.” *Archiv für Geschichte der Medizin* 20 (1928): 51–62.
- Suter, Heinrich. *Die Mathematiker und Astronomen der Araber und ihre Werke*. Leipzig: Teubner, 1900.
- Takahashi, H. “Bar ‘Ebroyo, Grigorios.” *Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011. 54–56.
- Takahashi, Hidemi. *Barhebraeus: A Bio-Bibliography*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2005.
- Takahashi, Hidemi and Naohide Yaguchi. “On the Medical Works of Barhebraeus: With a Description of the Abridgement of Ḥunain’s *Medical Questions*.” *Aramaic Studies* Special Issue (forthcoming).
- Tatawi, Mohyi el-Din el-. “Der Lungenkreislauf nach el-Koraschi: Wörtlich übersetzt nach seinem ‘Kommentar zum Teschrih Avicenna’.” M.D. diss., Albert-Ludwige Universität zu Freiburg, 1924.
- Temkin, Owsei. “Byzantine Medicine: Tradition and Empiricism.” *Dumbarton Oaks Papers* 16 (1962): 97–115.
- . *Galenism: Rise and Decline of a Medical Philosophy*. Ithaca: Cornell University Press, 1973.
- . “Geschichte des Hippokratismus im ausgehenden Altertum.” *Kyklos* 4 (1932): 1–80.
- . “On Galen’s Pneumatology.” *Gesnerus* 8 (1951): 180–189.

- . “Studies on Late Alexandrian Medicine: I. Alexandrian Commentaries on Galen’s *De Sectis ad Introducendos*.” *Bulletin of the History of Medicine* 3 (1935): 405–430.
- . “Was Servetus Influenced by Ibn an-Nafīs?” *Bulletin of the History of Medicine* 8 (1940): 731–734.
- Toomer, G. J. “Ptolemy.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 11. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 186–206.
- Totelin, Laurence M. V. “Mithradates’ Antidote: A Pharmacological Ghost.” *Early Science and Medicine* 9 (2004): 1–19.
- Troupéau, G. Review of *Hunayn ibn Ishāq, Questions on Medicine for Scholars*, by Paul Ghalioungui.” *Arabica* 31 (1984): 108.
- Ullmann, Manfred. *Die Medizin im Islam*. Leiden: Brill, 1970. [= **Ullmann**]
- . *Die Natur- und Geheimwissenschaften im Islam*. Leiden: Brill, 1972.
- . “Die Tadkira des ibn as-Suwaīdī, eine wichtige Quelle zur Geschichte der griechisch-arabischen Medizin und Magie.” *Der Islam* 54 (1977): 33–65.
- . *Islamic Medicine*. Edinburgh: Edinburgh University Press, 1978.
- . *Wörterbuch zu den griechisch-arabischen Übersetzungen des 9. Jahrhunderts*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag, 2002.
- . “Zwei spätantike Kommentare zu der hippokratischen Schrift ‘De morbis muliebribus’.” *Medizinhistorisches Journal* 1 (1966): 245–262.
- Ullmann, Manfred, ed. *Wörterbuch der klassischen arabischen Sprache*. Wiesbaden: Otto Harrassowitz, 1970–.
- Vadet, J. C. “Ibn Māsawayh.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 872f.
- Vagelpohl, Uwe. “In the Translator’s Workshop.” *Arabic Sciences and Philosophy* 21 (2011): 249–288.
- . “The ‘Abbāsid Translation Movement in Context: Contemporary Voices on Translation.’” *‘Abbadis Studies II: Occasional Papers of the School of ‘Abbasid Studies, Leuven 28 June–1 July 2004*. Leuven: Uitgeverij Peeters en Departement Oosterse Studies, 2010. 245–267.
- Vajda, Georges. *Index général des manuscrits arabes musulmans de la Bibliothèque Nationale de Paris*. Paris: Editions du Centre national de la recherche scientifique, 1953.
- Van Koningsveld, P. S. “Greek Manuscripts in the Early Abbasid Empire: Fiction and Facts about their Origin, Translation and Destruction.” *Bibliotheca orientalis* (1998): 345–372.
- Van Rompay, L. “Bar Bahlul, Ḥasan.” *Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011. 54.
- . “Theophilos of Edessa.” *Gorgias Encyclopedic Dictionary of the Syriac Heritage*. Piscataway, NJ: Gorgias Press, 2011. 409f.

- Vázquez-Buján, Manuel Enrique. “Problemas generales de las antiguas traducciones médicas latinas.” *Studi medievali* 25 (1984): 641–680.
- Vernet, J. “Ibn Abī Uṣaybi‘a.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 693f.
- . “Ibn al-Ṭayyib.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 955.
- . “Ibn Djāmi‘.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 3. Leiden: Brill, 1971. 749f.
- Vitrac, Bernard. “Euclid.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 20. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 416–421.
- Von Mueller, Iwan. “Ueber Galens Werk vom wissenschaftlichen Beweis.” *Abhandlungen der philosophisch-pihlogischen Classe der Königlich Bayerischen Akademie der Wissenschaften* 20 (1895): 403–478.
- Von Staden, Heinrich. “Body, Soul, and Nerves: Epicurus, Herophilus, Erasistratus, the Stoics, and Galen.” In *Psyche and Soma: Physicians and Metaphysicians on the Mind-Body Problem from Antiquity to Enlightenment*. Ed. John P. Wright and Paul Potter. Oxford: Clarendon Press, 2000. 79–116.
- . *Herophilus: the Art of Medicine in Early Alexandria*. Cambridge: Cambridge University Press, 1989.
- Vööbus, Arthur. *History of the School of Nisibis*. Louvain: Secrétariat du CorpusSCO, 1965.
- Voorhoeve, P. *Handlist of Arabic Manuscripts in the Library of the University of Leiden and Other Collections in the Netherlands*. Second enlarged edition. Hague: Leiden University Press, 1980.
- Walzer, Richard. “Al-Fārābī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 2. Leiden: Brill, 1965. 778–781.
- . “Djālīnūs.” *The Encyclopaedia of Islam*. Vol. 2. Leiden: Brill, 1965. 402f.
- . “Galens Schrift ‘Über die Siebenmonatskinder’.” *Rivista degli studi orientali* 15; 16 (1935; 1936): 323–357; 227.
- Weisser, Ursula. “Das Corpus Hippocraticum in der arabischen Medizin.” In *Die Hippokratischen Epidemien: Theorie-Praxis-Tradition: Verhandlungen des V<sup>e</sup> Colloque international hippocratique*. Ed. Gerhard Baader and Rolf Winau. Stuttgart: F. Steiner, 1989. 377–408.
- . “Noch einmal zur Isagoge des Johannicius: Die Herkunft des lateinischen Lehrtextes.” *Sudhoffs Archiv* 70 (1986): 229–235.
- . “Zur Rezeption der *Methodus Medendi* im *Continens* des Rhazes.” In *Galen’s Method of Healing: Proceedings of the 1982 Galen Symposium*. Ed. Fridolf Kudlien and Richard J. Durling. Leiden: Brill, 1991. 123–146.

- . “Zwischen Antike und europäischem Mittelalter: Die arabisch-islamische Medizin in ihrer klassischen Epoche.” *Medizinhistorisches Journal* 20 (1985): 319–341.
- Westerink, L. G. “Philosophy and Medicine in Late Antiquity.” *Janus* 51 (1964): 169–177.
- Wilson, L. G. “The Problem of the Discovery of the Pulmonary Circulation.” *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* 17 (1962): 229–244.
- Wilson, Leonard G. “Erasistratus, Galen, and the Pneuma.” *Bulletin of the History of Medicine* 33 (1959): 293–314.
- . “Galen: Anatomy and Physiology.” *Complete Dictionary of Scientific Biography*. Vol. 5. Detroit: Charles Scribner’s Sons, 2008. 233–237.
- Wolska-Conus, Wanda. “Les commentaires de Stéphanos d’Athènes au *Prognostikon* et aux *Aphorismes* d’Hippocrate: de Galien à la pratique scolaire alexandrine.” *Revue des études byzantines* 50 (1992): 5–86.
- . “Sources des commentaires des Stéphanos d’Athènes et de Théophile le Prôtospataire aus *Aphorismes* d’Hippocrate.” *Revue des études byzantines* 54 (1996): 5–66.
- . “Stéphanos d’Athènes et Stéphanos d’Alexandrie: essai d’identification et de biographie.” *Revue des études byzantines* 47 (1989): 5–89.
- Wright, William. *A Short History of Syriac Literature*. London: Adam and Charles Black, 1894.
- Wüstenfeld, Ferdinand. *Geschichte der arabischen Aerzte und Naturforscher*. Göttingen: Vandenhoeck und Ruprecht, 1840.
- Zaman, Muhammad Qasim. “Al-Ya’kūbī.” *The Encyclopaedia of Islam*. New Edition. Vol. 11. Leiden: Brill, 2002. 257f.
- Ziriklī, Khayr al-Dīn. *Al-A’lām: qāmūs tarājim*. 8 vols. Beirut: Dār al-‘Ilm al-Malāyīn, 2005.
- ディミトリ・グタス『ギリシア思想とアラビア文化』、山本啓二（訳）、東京：勁草書房、2002年。
- 五十嵐一『東方の医と知：イブン・スィーナー研究』、東京：講談社、1989年。
- 若林啓史『聖像画論争とイスラーム』、東京：知泉書館、2003年。
- 土屋睦廣「ガレノスのクラーシス論」『科学史研究』38卷（1998年）：223–228頁。
- 矢口直英「イスラム医学における『非自然要素』」『日本医史学雑誌』56卷（2010年）：53–66頁。
- 「イスラム医学の脳と精神：11世紀の機械論的解釈」『オリエント』54卷（2011年）：120–138頁。
- 「イブン・シーナーの自然精氣」『科学史研究』51卷（2012年）：129–137頁。
- 「イブン・スィーナーの薬物学における気質理論」『イスラームにおける知の構造と変容：思想史・科学史・社会史の視点から』、小林春夫、阿久津正幸、仁子寿晴、野元晋（編）、東京：早稲田大学イスラーム地域研究機構、2011年、66–74頁。

## 二次資料

——「イブン・ナフィースの血液理論再考」『日本医史学雑誌』58巻(2012年)：309–319頁。

——「フナイン・ブン・イスハーグ『医学問答集』の諸問題：第6巻の構造と出典」『オリエント』58巻(2015年)：211–223頁。

## 論文の内容の要旨

論文題目： フナイン・ブン・イスハーク『医学問答集』研究

氏名： 矢口 直英

古代末期中東の医学教育はガレノスのいわゆる「十六書」が中心であり、「十六書」が医学の正典となっていたと言われる。多数のギリシア語文献をアラビア語やシリア語に翻訳したフナイン・ブン・イスハーク (Hunayn ibn Ishāq, 873 年没) による『学生のための医学問答集 (Al-Masā'il fī al-tibb li-l-muta'allimīn)』(以下『医学問答集』) は、医者に必要な基礎知識を問答形式でまとめた著作であり、これも「十六書」の 1 点であるガレノス『医術 (Ars medica)』と、「十六書」に依拠したアレクサンドリア集成という文献群に基づいて編纂されたと考えられてきた。しかし、これらの見解は 11 世紀のイブン・リドワーン (Ibn Rīḍwān) が古代末期アレクサンドリアの医学教育に関して残した証言に基づいたものである。4 世紀以上も遅い時代の証言であるため、その真偽は改めて検討すべき課題である。

イスラーム圏でも初心者向けの入門書として高く評価され、またそのラテン語訳が中世ヨーロッパで大学医学部の必修書として扱われるなど、医学史上で非常に重要な文献であるにもかかわらず、『医学問答集』は未だ解明が不充分である。本研究は、その実態を明らかにするものである。『医学問答集』の分析は、医学者フナインを中東の医学伝統に位置づけるのみならず、中東の医学教育の実態を解明するにあたって大きな貢献となる。

本論文は序文と結論を除いて 5 章から成る。最初の 2 章は、本格的な分析に入る前に研究対象の情報を整理・確認するためのものである。まず第 1 章では、フナインとその

一派の経歴や活動を概観する。『医学問答集』はフナインの著作として知られるが、フナインの没後にその弟子のフバイシュ (Hubaysh ibn al-Hasan, 9世紀末に没) が増補して完成したと伝えられているため、共著者フバイシュについても確認する必要がある。またそれに加えて、フナインが残したガレノス著作の翻訳リストから、『医学問答集』を執筆する際に利用可能であったガレノス著作と、それらに対する評価を見る。

第2章は『医学問答集』に関する情報の確認に当たられる。『医学問答集』は10の章から成っており、その大まかな構成を見る。この著作にはアラビア語以外の言語の版があり、また注釈や要約がいくつか作成されたため、それらについても確認しておく必要がある。そして、『医学問答集』の構造分析のために重要な比較対象であるアレクサンドリア集成の特徴を、ガレノスの原典や同時代の他のガレノス注釈との比較から見る。

第3章以降では『医学問答集』を以下の3つの観点から考察する。まずは『医学問答集』の由来、その構造と出典という観点である（本論文第3章）。その内容をアレクサンドリア集成やガレノス著作と比較し、この著作がガレノス『医術』やアレクサンドリア集成に基づくという説の真偽を問う。これによって、『医学問答集』の複雑な構造を解明するとともに、9世紀以前の中東の医学教育で本来重視されていた分野に光を当てる。次に、『医学問答集』の別の版との比較を行う（本論文第4章）。アラビア語で書かれた『医学問答集』には、シリアル語版とラテン語訳が存在する。構造分析の結果に加えて『医学問答集』の異なる版の比較を通じてそれらの関係を探り、『医学問答集』の本来の姿を明らかにする。最後に、『医学問答集』の痕跡を辿る（本論文第5章）。すなわち、後代の医学者に対する影響に焦点を当て、この著作で新たに語られた見解がいかに受容されたかを検討する。そして、その医学史上の意義を問う。

これらの調査の結果、以下のことが明らかとなった。まず、『医学問答集』は従来考えられているような、ガレノスの「十六書」のみに依拠した文献ではないことである。『医学問答集』には確かにガレノスの『医術』で語られる医学区分に依拠した記述が見られ、「十六書」に基づくアレクサンドリア集成に並行する記述が多数見つかる。第1章から第5章はそのような説明が可能である。しかし、『医学問答集』には「十六書」では語られていない内容も明らかに存在する。『医学問答集』第6章にはガレノスの『単純薬品について』、『薬品複合について』の文章に類似する記述が見られる。それらは内容のみならず、文章表現の点でも密接に対応しているため、ガレノスのギリシア語の文章に直接依拠したものと考えられる。また、第9章と第10章はガレノスの「十六書」やアレクサンドリア集成とは無関係な由来をもつ。発熱を扱う第9章は過度に複雑な構造であり、その記述の流れも内容もガレノスの著作からは説明できない。第10章の主題である尿診もまたガレノスの真作には見つからないが、偽作『尿について』の記述と、その説明の順序や内容の点で大きく重なる。これらの事情から、『医学問答集』の構造は従来考えられてきた以上に複雑であり、前半（第5章前半まで）と後半（第5章後半から）でその構成と、出典との対応関係に差があることが判明した。また、ここで挙がったガレノスおよび偽ガレノスの著作は「十六書」には含まれていないが、それらが『医

『医学問答集』執筆の際に参照されていることから、「十六書」と並んで高い評価を受けていた医学文献が他にもあったことが明らかとなった。

『医学問答集』のアラビア語版とシリアル語版、およびラテン語版との比較からは、以下のような関係が明らかとなった。アラビア語版とシリアル語版を比較すると、シリアル語版では多くのギリシア語音写が含まれているが、アラビア語版ではそれらの大半が単なる音写ではなくなり、アラビア語の表現に置き換えられている。シリアル語版で1語で表されている事柄が、アラビア語版では2語(以上)で表現されている事例が頻繁にある。そして、シリアル語版には無いがアラビア語版にはあるという記述が散見される。これらのこととはシリアル語という言語の特徴を示しているだけではなく、シリアル語版がアラビア語版に先行していること、それらが同一の著者によって作成されたことを意味している。

一方、アラビア語版とラテン語版『医学入門』を比較すると、『医学問答集』のうち第5章後半、第6章、第7章、第8章後半、第9章の大半、第10章が翻訳されておらず、全体として半分以上が欠けていることが分かる。ラテン語版の最後は、シリアル語版写本でフナインの執筆箇所の最後と伝わる箇所と一致しているため、フナインの執筆部分はその箇所つまり第5章前半まで、フバイシュの増補部分は第5章後半以降であると判断できる。また、ラテン語版にもアラビア語版には無い記述が追加されている箇所がある。その追加記述は的外れなものではなく、ラテン語版翻訳者の医学知識が反映されたものである。そのため、ラテン語訳がアラビア語版の全体に対応していないことは、翻訳者の不注意や失策ではなく、その元になったアラビア語版写本の状態が理由であると考えられる。そして伝承とは異なり、ラテン語版に翻訳されている第8章前半のアラビア語はフナインの文体の特徴を有していることから、その不完全なアラビア語版写本はフナインが作成し、未だフバイシュの手が加わっていないものであったと考えられる。

最後に『医学問答集』の後代への影響として、「自然精氣」および「非自然要素」という概念の変遷を辿った。ここから判明したのは、『医学問答集』の後代のイスラーム医学者に対する影響が強いことである。人間の身体を構成する自然要素の7番目として『医学問答集』で加えられた3種類の精氣の1つである自然精氣は、他の2種類とは異なり、ガレノスやアレクサンドリア集成では明確には語られていないものである。これは、自然要素のうち能力・機能・精氣をそれぞれ自然的・動物的・精神的の3層構造に組み立てるために、フナインによって規定されたと考えられる。この構造が後代の医学者に受け継がれ、自然精氣の実態が語られないまま、3種類の精氣という構造だけが維持されていくこととなった。非自然要素についてもまた、ガレノスの著作に由来するものの、実際には見いだせない理論である。これが定式化されたのは『医学問答集』に原因があると考えられる。『医学問答集』で別々の箇所で語られる「必然的原因」と「自然でない要素」が共に6つと数えられているため、それぞれ別々の事柄が挙げられているにもかかわらず、それらが同一の概念であると後代の医学者によって誤解された。その結果、身体の状態を変化させる必然的原因としてガレノスが語る6つの事柄と、人間の自然要素ではないが意思に基づくものである「自然でない要素」という概念が重なっ

て、整理されていくこととなった。その際には、『医学問答集』で挙げられた合計で 8 つの事柄が、その問答で規定された 6 という数を維持するようにまとめられていった。また、アラビア語の医学書がラテン語に翻訳されていく過程で、この自然でない要素は強く根付いていくこととなる。このように、問答形式による『医学問答集』はイスラームの医学理論の発展に道筋をつけたのである。

フナインとフバイシュは翻訳者としてガレノスの著作をアラビア語圏へ伝えただけではない。彼らはガレノスの「十六書」より広い範囲の文献から素材を集め、新たな見解と合わせて『医学問答集』という 1 冊の文献にまとめて提供し、その発展の道筋をつけたという意味でも、イスラームの医学へ貢献をなしたことが、本研究によって明らかとなった。